

ユニバーサルデザイン推進計画 進捗状況 《成果指標》											
基本理念	成果指標	現状値 (2017年度)	目標値 (2023年度)	実績値						累計値	現所管部 部
				2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
ハード	バリアフリー基本構想で設定した歩道の整備率 [出典]バリアフリー基本構想進捗状況調べ	48.2%	69.7%	51.7%	54.8%	55.5%	55.5%	55.5%	55.5%	—	都市基盤部
ハード	バリアフリー基本構想で設定した特定事業の整備率 [出典]バリアフリー基本構想進捗状況調べ	39.0%	70.0%	39.0%	39.0%	56.0%	63.0%	63.0%	63.0%	—	都市基盤部
ハード	区有施設等の合同点検実施件数(2018年度からの累計値)	—	12件	13件	0件	2件	0件	0件	1件	16件	企画部
ソフト	行政手続における電子申請の利用割合 [出典]企画部(電子手続の利用状況調査)調べ	60.2%	68.0%	60.3%	62.2%	59.2%	69.5%	73.5%	74.0%	—	総務部
ソフト	週1回以上活動を行っている通いの場の数 [出典]介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況に関する調査	119か所	150か所	169か所	165か所	165か所	167か所	165か所	143か所	—	地域支えあい推進部
ソフト	商店街・地域の多言語化・ユニバーサルデザイン化支援数(2018年度からの累計値) [出典]商店街チャレンジ戦略支援事業実績報告	2事業	17事業	4事業	1事業	3事業	0事業	0事業	1事業	9事業	区民部
ソフト	ユニバーサルデザイン関連創業等支援セミナー参加者数(2019年度からの累計値) [出典]産業振興センター指定事業結果報告	—	480人	—	93人	51人	75人	38人	10人	267人	区民部
ソフト	情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づく見直し・改善数(2019年度からの累計値)	—	200件	—	17件	119件	257件	289件	236件	918件	企画部
ハート	学校は思いやりや優しい心を育てていると回答している保護者の割合 [出典]学校教育に関する保護者アンケート	小:81.5% 中:75.6%	小:85.0% 中:80.0%	小:80.8 中:73.3	小:74.7 中:71.0	小:76.7 中:70.9	小:79.2 中:75.2	小:77.8 中:74.5	小:78.6 中:74.3	—	教育委員会事務局
ハート	職員のユニバーサルデザイン研修(人権セミナー研修を含む)延べ受講者数 (2018年度からの累計値) [出典]職員研修実績調べ	154人	1515人	194人	235人	326人	305人	308人	327人	1695人	総務部
											企画部
ハート	ユニバーサルデザインサポーターの延べ養成人数(2019年度からの累計値)	—	100人	—	18人	0人	67人	68人	70人	223人	企画部
ハート	ユニバーサルデザインの理解促進事業の延べ参加者数(2017年度からの累計値)	72人	572人	0人	42人	0人	115人	102人	86人	417人	企画部
ハート	区民公益活動に関する政策助成による助成団体数(2019年度からの累計値)	—	12団体	—	10団体	9団体	11団体	11団体	8団体	49団体	地域支えあい推進部

基本 理念	施策の 方向	主な取組		2019年度の実績		2020年度の実績		2021年度の実績		2022年度の実績		2023年度の実績		現所管部
ハード	1	利用しやすく安全で快適なまち・公園づくり												
	1	1	安全で快適に通行できる道路・歩行空間の整備											
	1	1	中野駅周辺まちづくり、西武新宿線沿線まちづくり、防災まちづくりなど、各事業の進捗にあわせた道路の整備を進めます。	A:実施した	都市計画道路等の整備に向け、道路予備設計や関係機関協議を実施した。	A:実施した	都市計画道路等の整備にむけた道路用地を取得した。	A:実施した	西武新宿線沿線まちづくりや、各地区の防災まちづくりの進捗にあわせ、整備にむけて必要となる道路用地を取得した。	A:実施した	西武新宿線沿線まちづくりや、各地区の防災まちづくりの進捗にあわせ、整備にむけて必要となる道路用地を取得した。	A:実施した	西武新宿線沿線まちづくりや、各地区の防災まちづくりの進捗にあわせ、整備にむけて必要となる道路用地を取得した。	まちづくり推進部
				A:実施した	中野駅周辺においては、各地区のまちづくりにあわせ、必要となる道路の整備を進めた(中野二丁目地区、中野三丁目地区)。	A:実施した	中野駅周辺においては、各地区のまちづくりにあわせ、必要となる道路の整備を進めた(中野二丁目地区、中野三丁目地区)。	A:実施した	中野駅周辺においては、各地区のまちづくりにあわせ、必要となる道路の整備を進めた(中野二丁目地区、中野三丁目地区)。	A:実施した	中野駅周辺においては、各地区のまちづくりにあわせ、必要となる道路の整備を進めた(中野二丁目地区、中野三丁目地区)。	A:実施した	中野駅周辺においては、各地区まちづくりの進捗にあわせ、必要となる道路の整備を進めた(中野二丁目地区、中野三丁目地区)。	まちづくり推進部
	1	1	既存の道路について、歩道の整備・改善や傷んだ道路の維持補修工事とあわせて、順次、道路の段差解消や坂道への手すり設置などバリアフリー工事を進めます。	A:実施した	区道31-240(新井天神通り)	A:実施した	区道23-560(宝仙寺前通り)	B:実施できなかったが、次年度実施予定	2023年度の実施に向けて調整を進めた。	B 実施できなかったが、次年度に実施予定	2023年度の実施に向けて調整を進めた。	A:実施した	区道43-250の工事を発注し、着工に向けて調整を進めた。	都市基盤部
	1	1	違反屋外広告物や商店の商品のはみだし等、不法占用に対して、商店街や地域、警察署などの関係機関と連携し、指導・取締を推進します。	A:実施した	・違反広告物撤去回数 24回 ・違反広告物撤去枚数 12,503枚	A:実施した	・違反広告物撤去回数 24回 ・違反広告物撤去枚数 12,029枚	A:実施した	・違反屋外広告物撤去回数 24回 ・違反屋外広告物撤去枚数 9,020枚	A:実施した	・違反屋外広告物撤去回数 24回 ・違反屋外広告物撤去枚数 7,328枚	A:実施した	・違反屋外広告物撤去回数 24回 ・違反屋外広告物撤去枚数 7,333枚	都市基盤部
	1	1	自転車利用のルールの周知やマナー向上の啓発とともに、各駅周辺を中心に、放置自転車の指導・警告、撤去活動を実施します。	A:実施した	【自転車安全利用講習会】自転車利用のルール、マナー向上を図ることを目的に「自転車安全利用講習会」を4回実施した。参加者284人。	A:実施した	【自転車安全利用講習会】自転車利用のルール、マナー向上を図ることを目的に「自転車安全利用講習会」を4回実施した。参加者111人。	A:実施した	【自転車安全利用講習会】自転車利用のルール、マナー向上を図ることを目的に「自転車安全利用講習会」を4回実施した。参加者124人。	A:実施した	【自転車安全利用講習会】自転車利用のルール、マナー向上を図ることを目的に「自転車安全利用講習会」を4回実施した。参加者133人。	A:実施した	【自転車安全利用講習会】自転車利用のルール、マナー向上を図ることを目的に「自転車安全利用講習会」を8回実施した。参加者162人。	総務部
				A:実施した	放置自転車の指導・警告・撤去を平日毎日、土日祝日も月2回程度行った。	A:実施した	放置自転車の指導・警告・撤去を平日毎日、土日祝日も月2回程度行った。	A:実施した	放置自転車の指導・警告・撤去を平日毎日、土日祝日も月2回程度行った。	A:実施した	放置自転車の指導・警告・撤去を平日毎日、土日祝日も月2回程度行った。	A:実施した	放置自転車の指導・警告・撤去を平日毎日、土日祝日も月2回程度行った。	都市基盤部
	1	1	中野区無電柱化推進計画を策定し、計画的に無電柱化を進めます。	A:実施した	・中野区無電柱化推進計画の策定 ・区道14-910ほか設計	A:実施した	・区道14-910本体工事着手 ・区道14-880ほか試掘調査、設計	A:実施した	・区道14-910本体工事推進 ・区道14-880設計検討 ・区道14-940公益財団法人東京都道路整備保全公社との施行協定を締結	A:実施した	・区道14-910引連(電力)工事 ・区道14-880設計検討 ・区道14-940設計検討	A:実施した	・弥生町三丁目避難道路1号電線共同溝工事及び道路予備設計 ・弥生町三丁目避難道路2号引連(通信)工事 ・弥生町三丁目避難道路7号電線共同溝詳細設計	都市基盤部
	1	2	安全で快適に利用できる公園の整備											
	1	2	園路改修、だれでもトイレへの改修、遊具の更新など、既存公園の再整備を計画的に進め、公園の利便性・快適性と魅力を高めます。また、公園が安全で快適に利用できるようなルールづくりを進めます。	A:実施した	東京都ユニバーサルデザインのまちづくり実施要綱に基づく補助金を活用し、公園のトイレ及び園路等を含むバリアフリー化を実施した(新井薬師公園)。	A:実施した	・東京都ユニバーサルデザインのまちづくり実施要綱に基づく補助金を活用し、公園トイレ及び園路等を含むバリアフリー化を行った(桜山公園、江原公園)。※工事は、2021年6月完了 ・ユニバーサルデザインに配慮した遊具の更新を行った(新井薬師公園、城山公園)。	A:実施した	・東京都ユニバーサルデザインのまちづくり実施要綱に基づく補助金を活用し、公園トイレ及び園路等を含むバリアフリー化を行った(桜山公園、江原公園)。※工事については、2021年6月完了 ・ユニバーサルデザインに配慮した遊具の更新を行った(弥生公園、八成公園)。	A:実施した	・地域福祉推進包括保護事業に基づく補助金を活用し、公園トイレ及び園路等を含むバリアフリー化の設計を行った(鶯宮運動広場、武蔵台公園)。 ・「ゴムボール遊び」、「自転車等に乗るための練習」等他の利用者や周辺住民への迷惑とならないことを前提とし、ルールの緩和を行った。	A:実施した	・地域福祉推進包括補助事業に基づく補助金を活用し、公園トイレ及び園路等を含むバリアフリー化の設計(れんげ公園、すみれ公園)と工事(鶯宮運動広場、武蔵台公園)を行った。 ・「ゴムボール遊び」、「自転車等に乗るための練習」等他の利用者や周辺住民への迷惑とならないことを前提としたルールの緩和を継続して実施した。	都市基盤部
	2	円滑に移動できる交通環境づくり												
	2	1	わかりやすい案内表示の充実											
	2	1	区民の日常的な移動や活動、国内外からの来街者の利便性の向上を図るため、多言語化、ピクトグラムの活用等について、基本的な考え方を定めた公共サインガイドラインを策定し、順次、公共サインの整備を進めます。	A:実施した	公共サインガイドラインに基づき、施設名の多言語化及び二次元コードを掲載したサインにリニューアルした。	A:実施した	施設の新規開設(キリンレモンスポーツセンター)に伴い、サインの表示を変更した。	A:実施した	施設の新規開設(みらいステップなかの、中野東中学校)に伴い、サインの表示を変更した。	A:実施した	学校の統合(みなみの、美鳩、中野第一、令和小学校)に伴うサインの表示修正を実施した。	A:実施した	2024年5月の区役所庁舎移転にあたって、新庁舎の表示を修正するために修正シールを作成した。	企画部
	2	2	区内を円滑に移動できる交通サービスの検討											
	2	2	交通弱者等が区内を円滑に移動できる環境整備の方向性を検討するために実施した基礎調査の結果をもとに、区内の交通サービスのあり方を検討します。	A:実施した	業務委託を実施し、交通サービスのあり方を検討した。	A:実施した	業務委託を実施し、2021年度以降の事業の進め方について検討した。	A:実施した	新たな公共交通サービスの実証実験運行に向けて地域勉強会の設置やアンケート調査を実施し、地域における需要や意向の把握及び運行ルート等の検討を行い、事業に関する協定締結候補者として運行事業者を選定した。	A:実施した	2021年度までに把握した地域における需要や意向をもとに、運行ルート等について関係者調整を進め、2022年10月～2023年3月に実証実験運行を実施した。	A:実施した	2022年10月～2023年3月に実施した実証運行の検証及び評価を行い、運行ルート等を改善した上で、2023年9月より2023年度実証運行を実施した。	都市基盤部

基本理念	施策の方向	主な取組		2019年度の実績			2020年度の実績			2021年度の実績			2022年度の実績			2023年度の実績			現所管部
	2	3	交通事業者と連携したまちづくり																
	2	3		A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	都市基盤部			
			交通事業者や東京都などと調整・連携等しながら、ユニバーサルデザインに配慮した、駅周辺の交通広場の整備などを進めます。	A:実施した	都市計画道路の整備に向け、道路予備設計を実施し道路や交通広場構造等を検討した。	A:実施した	東京都や西武鉄道との進行管理会議を通じ、交通広場整備に向けて、事業に関する情報共有を図った。	A:実施した	東京都や西武鉄道との進行管理会議を通じ、交通広場整備に向けて、事業に関する情報共有を図った。	A:実施した	東京都や西武鉄道との進行管理会議を通じ、交通広場整備に向けて、事業に関する情報共有を図った。	A:実施した	東京都や西武鉄道との進行管理会議を通じ、交通広場整備に向けて、事業に関する情報共有を図った。	まちづくり推進部					
				A:実施した	中野駅周辺においては、ユニバーサルデザインに配慮した、駅前広場の計画検討及び設計を進めた(南口駅前広場、西口広場、新北口駅前広場)。	A:実施した	中野駅周辺においては、ユニバーサルデザインに配慮した、駅前広場の計画検討及び設計を進めた(南口駅前広場、西口広場、新北口駅前広場)。	A:実施した	中野駅周辺においては、ユニバーサルデザインに配慮した、駅前広場の計画検討及び設計を進めた(南口駅前広場、西口広場、新北口駅前広場)。	A:実施した	中野駅周辺においては、ユニバーサルデザインに配慮した、駅前広場の計画検討及び設計を進めた(南口駅前広場、西口広場、新北口駅前広場)。	A:実施した	中野駅周辺においては、ユニバーサルデザインに配慮した、駅前広場の計画検討及び設計を進めた(南口駅前広場、西口広場、新北口駅前広場)。	まちづくり推進部					
	2	3		A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	A:実施した	将来管理者として、まちづくり推進部と協議や助言を行った。	都市基盤部			
			工事中も全ての人が安全・快適に利用できるよう配慮して工事を進めます。	A:実施した	都市計画道路等の用地管理工事において、安全な歩行者動線を確保した整備を実施した。	A:実施した	都市計画道路等の用地管理工事において、安全な歩行者動線を確保した整備を実施した。	A:実施した	都市計画道路等の用地管理工事において、安全な歩行者動線を確保した整備を実施した。	A:実施した	都市計画道路等の用地管理工事において、安全な歩行者動線を確保した整備を実施した。	A:実施した	都市計画道路等の用地管理工事において、安全な歩行者動線を確保した整備を実施した。	まちづくり推進部					
				A:実施した	現場において、監視員・誘導員を配置するなど、利用者の安全・快適に配慮しながら工事を進めた。	A:実施した	現場において、監視員・誘導員を配置するなど、利用者の安全・快適に配慮しながら工事を進めた。	A:実施した	現場において、監視員・誘導員を配置するなど、利用者の安全・快適に配慮しながら工事を進めた。	A:実施した	現場において、監視員・誘導員を配置するなど、利用者の安全・快適に配慮しながら工事を進めた。	A:実施した	現場において、監視員・誘導員を配置するなど、利用者の安全・快適に配慮しながら工事を進めた。	まちづくり推進部					
	2	4	利用しやすい駐車場・自転車駐車場の整備																
	2	4		A:実施した	区営自転車駐車場で、障害者や特殊車両等の利用者のため、平置きスペースの確保に務めた。	A:実施した	区営自転車駐車場で、障害者や特殊車両等の利用者のため、平置きスペースの確保に務めた。	A:実施した	自転車駐車場の新設、増設の際、障害者や特殊車両等の利用者のため、平置きスペースの確保に務めた。	A:実施した	自転車駐車場の新設、増設の際、障害者や特殊車両等の利用者のため、平置きスペースの確保に務めた。	A:実施した	自転車駐車場の新設、増設の際、障害者や特殊車両等の利用者のため、平置きスペースの確保に務めた。	都市基盤部					
			全ての人が利用しやすいよう配慮した自転車駐車場の整備を進めます。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせ、駐輪形式や利用者動線など、利便性に配慮した自転車駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせ、駐輪形式や利用者動線など、利便性に配慮した自転車駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせ、駐輪形式や利用者動線など、利便性に配慮した自転車駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせ、駐輪形式や利用者動線など、利便性に配慮した自転車駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせ、駐輪形式や利用者動線など、利便性に配慮した自転車駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	まちづくり推進部					
	2	4		ー:評価不能(隔年実施、事業終了など)	特定路外駐車場の設置の際に車椅子使用者用駐車場の設置が義務づけられているが、対象の届出はなかった。	A:実施した	ホームページ及び窓口ガイドラインに基づくリーフレット掲示し周知を行った。	A:実施した	窓口ガイドラインに基づくリーフレットを置くなど周知を行った。	A:実施した	窓口ガイドラインに基づくリーフレットを置くなど周知を行った。	A:実施した	窓口ガイドラインに基づくリーフレットを置くなど周知を行った。	都市基盤部					
			「障害者等駐車区画の適正利用に向けたガイドライン」(東京都)に基づく駐車場の整備を促進します。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせて、ガイドラインに基づく駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせて、ガイドラインに基づく駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせて、ガイドラインに基づく駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせて、ガイドラインに基づく駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	A:実施した	各地区のまちづくりにあわせて、ガイドラインに基づく駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	まちづくり推進部					
	3	利用しやすく配慮された区有施設づくり																	
	3	1	区有施設の整備・改修の基本的な考え方の策定																
	3	1	区有施設は、「都立建築物のユニバーサルデザイン導入ガイドライン」(東京都)に基づき整備を進めてきましたが、トイレなど、建物の用途や利用者の状況等により特に配慮が必要な設備等については、区としての基本的な考え方などを別途定め、整備や改修を進めます。	C:検討中(実施時期未定)	中野区区有施設整備計画の策定に向け、各種検討を進めた。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	中野区区有施設整備計画(素案)を作成し、区有施設の再編及び更新・保全の基本方針において、ユニバーサルデザインへの対応、バリアフリー改修について考え方を整理した。	A:実施した	中野区区有施設整備計画を2021年10月に策定し、区有施設の再編及び更新・保全の基本方針において、ユニバーサルデザインへの対応、バリアフリー改修について考え方を整理した。	A 実施した	中野区区有施設整備計画を2021年10月に策定し、区有施設の再編及び更新・保全の基本方針において、ユニバーサルデザインへの対応、バリアフリー改修について考え方を整理した。	ー:評価不能(隔年実施、事業終了など)	-	企画部					
				A:実施した	新築の設計用に、利用者が使いやすい施設を目指し、ユニバーサルデザイン等を含めた設計条件要求仕様書を作成した。	A:実施した	施設の使用状況を確認し、改善すべき点について設計条件要求仕様書の更新を行った。	A:実施した	施設の使用状況を確認し、改善すべき点について設計条件要求仕様書の更新を行った。	A:実施した	施設の使用状況を確認し、改善すべき点について設計条件要求仕様書の更新を行った。	A:実施した	施設所管と共に建物の用途や利用状況を確認し、設計予条件について取りまとめを行い整備を進めた。	総務部					
				ー:評価不能(隔年実施、事業終了など)	該当案件なし	ー:評価不能(隔年実施、事業終了など)	企画部等から協議依頼があったときに部内取りまとめを行う。	A:実施した	トイレの整備や改修を進めるため、ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業補助金(都補助金)について庁内に周知し、申請等のとりまとめを行った。	A 実施した	トイレの整備や改修を進めるため、公共トイレへの介助用大型ベッド設置促進事業補助金(都補助金)について庁内に周知した。	A 実施した	トイレの整備や改修を進めるため、トイレの出入口表示整備への補助金(都補助金)について庁内に周知した。	健康福祉部					
				A:実施した	・基本的な考え方等は別途定めず、課の職員が施設に出向き、各施設毎の課題点及び工事が必要な箇所を判断の上、整備実施。 ・施設職員とも連携をとり、整備・改修を進めた。	A:実施した	・基本的な考え方等は別途定めず、課の職員が施設に出向き、各施設毎の課題点及び工事が必要な箇所を判断の上、整備実施。 ・施設職員とも連携をとり、整備・改修を進めた。	A:実施した	・基本的な考え方等は別途定めず、課の職員が施設に出向き、各施設毎の課題点及び工事が必要な箇所を判断の上、整備実施。 ・施設職員とも連携をとり、整備・改修を進めた。	A:実施した	・基本的な考え方等は別途定めず、課の職員が施設に出向き、各施設毎の課題点及び工事が必要な箇所を判断の上、整備実施。 ・施設職員とも連携をとり、整備・改修を進めた。	A:実施した	・基本的な考え方等は別途定めず、課の職員が施設に出向き、各施設毎の課題点及び工事が必要な箇所を判断の上、整備実施。 ・施設職員とも連携をとり、整備・改修を進めた。	子ども教育部					
				A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画に基づく整備実施 ・トイレ洋式化工事の実施	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)への取組 ・トイレ洋式化工事の実施	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)の作成 ・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)に基づく整備実施 ・トイレ洋式化工事の実施	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)の作成 ・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)に基づく整備実施 ・トイレ洋式化工事の実施	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)に基づき、整備を実施した。 ・トイレ洋式化工事を計画的に実施し、ほぼ全ての小中学校でトイレ洋式化工事が完了した。	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)に基づき、整備を実施した。 ・トイレ洋式化工事を計画的に実施し、ほぼ全ての小中学校でトイレ洋式化工事が完了した。	教育委員会事務局			
	3	1		A:実施した	トイレ洋式化工事のしゅん工後、利用者の使用状況を確認を行った。	A:実施した	3施設の新築工事のしゅん工後、利用者の使用状況を確認した。	A:実施した	3施設の新築工事のしゅん工後、利用者の使用状況を確認した。	A:実施した	3施設の新築工事のしゅん工後、利用者の使用状況を確認した。	A:実施した	新築や改修した施設について、施設所管に使用状況や改善点がないか確認する。	総務部					
			整備・改修した施設の事後検証を実施します。	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	子ども教育部					
				A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	A:実施した	改修施設等への定期的な訪問による検証	教育委員会事務局					

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の取組実績		2020年度の取組実績		2021年度の取組実績		2022年度の取組実績		2023年度の取組実績		現所管部	
	3	2	利用しやすい区有施設の整備・改修											
	3	2	区有施設や小中学校の整備・改修は、「都立建築物のユニバーサルデザイン導入ガイドライン」(東京都)を踏まえ、区が定める区有施設の整備・改修の基本的な考え方に沿って整備を進めます。	A:実施した	設計条件要求仕様書を基に2施設の新築の実施設計を行った。	A:実施した	設計条件要求仕様書を基に、また改善すべき点を踏まえ、4施設の新築の実施設計を行った。	A:実施した	設計条件要求仕様書を基に、また改善すべき点を踏まえ、4施設の新築の実施設計を行った。	A:実施した	設計条件要求仕様書を基に、また改善すべき点を踏まえ、4施設の新築の実施設計を行い、2022年度工事中である。	A:実施した	設計条件要求仕様書を基に区民活動センター1施設、小学校2校、中学校1校の基本・実施設計を進めており、小学校1校、中学校1校が工事中である。また、鷲の杜小学校及び中野区新庁舎が竣工した。	総務部
				A:実施した	区立保育園・幼稚園各施設毎の課題点を解消する改修工事を実施した。	A:実施した	区立保育園・幼稚園各施設毎の課題点を解消する改修工事を実施した。	A:実施した	区立保育園・幼稚園各施設毎の課題点を解消する改修工事を実施した。	A:実施した	区立保育園・幼稚園各施設毎の課題点を解消する改修工事を実施した。	A:実施した	区立保育園・幼稚園各施設毎の課題点を解消する改修工事を実施した。	子ども教育部
				A:実施した	中野区立小中学校施設整備計画に基づく新校舎整備の実施(設計及び工事)	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画に基づく新校舎整備の実施(設計及び工事) ・新校舎使用開始(美鳩小、みなみの小)	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)に基づく新校舎整備の実施(設計及び工事) ・新校舎使用開始(中野第一小学校、中野東中学校)	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)に基づく新校舎整備の実施(設計及び工事) ・新校舎使用開始(令和小学校)	A:実施した	・中野区立小中学校施設整備計画(改定版)に基づく新校舎整備の実施(設計及び工事) ・新校舎竣工(鷲の杜小学校)	教育委員会事務局
				—	—	—	—	—	—	A:実施した	(総務部) 2024年2月末に中野区役所新庁舎が竣工。バリアフリー法や都条例、都立建築物のユニバーサルデザイン導入ガイドライン等に照らし合わせ、必要な安全性を確保している。	各部		
	3	2	施設整備・改修に伴って、備品などユニバーサルデザインの視点で配慮された商品の活用を進めます。	A:実施した	(区民部) 【もみじ山文化センター】 ・車イス購入 ・施設案内表示多言語化	A:実施した	(区民部) 【もみじ山文化センター】 ・西館トイレ スティックラバー(杖置き)設置	A:実施した	(区民部) なかのZEROトイレのベビーシート、ベビィチェアの更新(計4か所)	A:実施した	(区民部) なかのZEROトイレのベビーシート、ベビィチェアの更新(計4か所)	A:実施した	(総務部) 新庁舎に整備する什器・備品等については、誰もが安全で使いやすい製品を選定している。	各部
	4	利用しやすく配慮された民間施設・住宅づくり												
	4	1	利用しやすい民間施設の誘導・整備の支援											
	4	1	中野区バリアフリー基本構想の「重点整備地区における施設別のバリアフリー化の方針」に基づき障害者や高齢者をはじめ全ての人が使いやすいよう配慮された施設の誘導を進めます。	A:実施した	・中野区バリアフリー基本構想の「特定事業」について進捗調査を行った。また、調査結果をまとめ、中野区のHPにて公開した。 ・東京都の「ユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業要綱」の対象事業である「ユニバーサルデザインのまちづくり住民参加推進事業」にて、公園及び付属するトイレの改修を行うためのまちあるき点検業務を遂行した。	A:実施した	中野区バリアフリー基本構想の「特定事業」について、進捗調査を行った。また、調査結果をまとめ、中野区のHPにて公開した。	A:実施した	中野区バリアフリー基本構想の「特定事業」について、進捗調査を行った。また、調査結果をまとめ、中野区のHPにて公開した。	A:実施した	中野区バリアフリー基本構想の「特定事業」について、進捗調査を行った。また、調査結果をまとめ、中野区のHPにて公開した。	A:実施した	中野区バリアフリー基本構想の「特定事業」について、進捗調査を行った。また、調査結果をまとめ、中野区のHPにて公開した。	都市基盤部
				D:未着手(検討していない)		A:実施した	西武新宿線(中井駅～野方駅間)連続立体交差事業の事業期間が延長されたが、今後も都(事業主体)・西武鉄道と連携し、事業を早期に実現できるよう取り組んでいく。	A:実施した	西武新宿線(中井駅～野方駅間)連続立体交差事業の事業期間が延長されたが、今後も都(事業主体)・西武鉄道と連携し、事業を早期に実現できるよう取り組んでいく。	A:実施した	西武新宿線(中井駅～野方駅間)連続立体交差事業の事業期間が延長されたが、今後も都(事業主体)・西武鉄道と連携し、事業を早期に実現できるよう取り組んでいく。	A:実施した	西武新宿線(中井駅～野方駅間)連続立体交差事業について、今後も都(事業主体)・西武鉄道と連携し、事業を早期に実現できるよう取り組んでいく。	まちづくり推進部
				A:実施した	中野駅のバリアフリー化に向け、西側南北通路・橋上駅舎の整備を進めた。	A:実施した	中野駅のバリアフリー化に向け、西側南北通路・橋上駅舎の整備を進めた。	A:実施した	中野駅のバリアフリー化に向け、西側南北通路・橋上駅舎の整備を進めた。	A:実施した	中野駅のバリアフリー化に向け、西側南北通路・橋上駅舎の整備を進めた。	A:実施した	中野駅のバリアフリー化に向け、西側南北通路・橋上駅舎の整備を進めた。	まちづくり推進部
	4	1	中野区福祉のまちづくりのための環境整備要綱に基づき、小規模施設の整備・改善を誘導します。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例施行規則の改正により整備基準等が変更されたため、要綱の改正を行った。	A:実施した	バリアフリー法の改正により号ずれが生じたため、要綱の改正を行った。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例施行規則の改正に伴い、要綱の改正を行った。	A:実施した	2023年度の東京都福祉のまちづくり条例施行規則の改正及び施設整備マニュアル改訂について、区としての意見を調整し取りまとめ、東京都へ回答した。	A:実施した	「東京都福祉のまちづくり条例施行規則」の一部改正に伴う「中野区福祉のまちづくりのための環境整備要綱」の一部改正と、2023年度東京都作成の「当事者参画で進めるユニバーサルデザインの施設づくりハンドブック」について、庁内所管部署に周知した。	健康福祉部
				A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例の施設整備基準に適合するよう、区内の新築・改修工事の審査を38件行った。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例の施設整備基準に適合するよう、区内の新築・改修工事の審査を22件行った。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例の施設整備基準に適合するよう、区内の新築・改修工事の審査を22件行った。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例の施設整備基準に適合するよう、区内の新築・改修工事の審査を31件行った。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例の施設整備基準に適合するよう、区内の新築・改修工事の審査を32件行った。	都市基盤部
	4	1	だれでもトイレ設置、障害者・高齢者用サイン表示、授乳・おむつ替え等スペースの設置などの事業について、商店街に周知・情報提供を行い、事業を誘導します。	A:実施した	事業実施主体である区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、PRを行った。	A:実施した	事業実施主体である区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、PRを行った。	A:実施した	事業実施主体である区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、PRを行った。	A:実施した	事業実施主体である区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、PRを行った。	A:実施した	事業実施主体である区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、PRを行った。	区民部
	4	1	公衆浴場の改修(バリアフリー化等)に必要な経費の一部を補助します。	A:実施した	公衆浴場設備改善資金助成金を13浴場に、はつらつ事業施設改修費補助金を1浴場に助成し、区民の誰もが利用しやすい公衆浴場の利用機会の確保と公衆衛生向上及び健康増進に寄与した。	A:実施した	公衆浴場設備改善資金助成金を14浴場に、健康増進型公衆浴場改築等助成金を1浴場に助成し、区民の誰もが利用しやすい公衆浴場の安全な利用機会の確保と公衆衛生向上及び健康増進に寄与した。	A:実施した	公衆浴場設備改善資金助成金を13浴場に、健康増進型公衆浴場改築等助成金を2浴場に助成し、区民の誰もが利用しやすい公衆浴場の安全な利用機会の確保と公衆衛生向上及び健康増進に寄与した。	A:実施した	公衆浴場設備改善資金助成金を14浴場に、はつらつ事業施設改修費補助金を1浴場に助成し、区民の誰もが利用しやすい公衆浴場の安全な利用機会の確保と公衆衛生向上及び健康増進に寄与した。	A:実施した	公衆浴場設備改善資金助成金を12浴場に、健康増進型公衆浴場改築等助成金を2浴場に助成し、区民の誰もが利用しやすい公衆浴場の安全な利用機会の確保と公衆衛生向上及び健康増進に寄与した。	健康福祉部

基本理念	施策の方向	主な取組		2019年度の実績		2020年度の実績		2021年度の実績		2022年度の実績		2023年度の実績		現所管部
	4	2 快適に暮らせる住宅の誘導・整備の支援												
	4	2	高齢者等が安心して暮らしていけるよう、サービス付高齢者向け住宅を整備・誘導するとともに、東京シニア円滑入居賃貸住宅の登録促進を図っていきます。	A:実施した	【サービス付高齢者向け住宅】 2014年度～2018年度にかけて、区内4ヶ所に整備・誘導済み。 【東京シニア円滑入居賃貸住宅】登録数 1,740戸	A:実施した	【サービス付高齢者向け住宅】 2019年度から変更なし 【東京シニア円滑入居賃貸住宅】本制度は、2020年3月末をもって制度終了となった。2020年度より類似制度である「住宅セーフティネット制度」へ移行した。(2020年度末の登録数は585戸)	A:実施した	【サービス付高齢者向け住宅】 ・サービス付き高齢者向け住宅の整備を検討している事業者の相談に応じた。 ・住み替え相談において、相談者の状況に応じてサービス付き高齢者向け住宅の情報提供を行った。 【東京シニア円滑入居賃貸住宅】本制度は、2020年3月末をもって制度終了となった。2020年度からは類似制度である「住宅セーフティネット制度」へ移行した。(2021年度末の登録数は622戸)	A:実施した	【サービス付高齢者向け住宅】 ・サービス付き高齢者向け住宅の整備を検討している事業者の相談に応じた。 ・住み替え相談において、相談者の状況に応じてサービス付き高齢者向け住宅の情報提供を行った。 【東京シニア円滑入居賃貸住宅】本制度は、2020年3月末をもって制度終了となった。2020年度からは類似制度である「住宅セーフティネット制度」へ移行した。(2022年度末の登録数は670戸)	A:実施した	【サービス付高齢者向け住宅】 ・サービス付き高齢者向け住宅の整備を検討している事業者の相談に応じた。 ・住み替え相談において、相談者の状況に応じてサービス付き高齢者向け住宅の情報提供を行った。 【東京シニア円滑入居賃貸住宅】本制度は、2020年3月末をもって制度終了となった。2020年度からは類似制度である「住宅セーフティネット制度」へ移行した。(2023年度末の登録数は679戸)	都市基盤部
	4	2	高齢者等の住宅確保と木造賃貸住宅のバリアフリー化促進のための大家さん向けのセミナーを実施します。	A:実施した	不動産事業者と賃貸物件オーナーを対象に、12月6日(金)に中野区と居住支援法人の共催で開催。住宅セーフティネット制度の周知、高齢化社会における賃貸住宅市場の状況、今後求められるセーフティネット等の他、賃貸住宅のバリアフリー化も含めた今後の居住支援の取組のあり方等についてそれぞれ講師による講演を行った。	A:実施した	居住支援協議会の設立準備として、高齢者を含む住宅確保要配慮者への民間賃貸住宅への入居支援の必要性など、国土交通省の支援を受け、住宅部門、福祉部門の関係団体や職員向けに勉強会を2回開催した。	A:実施した	居住支援協議会の運営を支援し、連携して高齢者等の住宅確保要配慮者及び民間賃貸住宅オーナー等に対する居住支援制度等の情報提供やセーフティネット住宅の普及啓発を行った。	A 実施した	居住支援協議会の運営を支援し、連携して高齢者等の住宅確保要配慮者及び民間賃貸住宅オーナー等に対する居住支援制度等の情報提供やセーフティネット住宅の普及啓発を行った。	A 実施した	居住支援協議会の運営を支援し、連携して高齢者等の住宅確保要配慮者及び民間賃貸住宅オーナー等に対する居住支援制度等の情報提供やセーフティネット住宅の普及啓発を行った。	都市基盤部
	4	2	空家等対策基本計画を策定し、計画に基づく空家等関連事業や(仮称)住まい対策推進協議会による住まいの総合相談事業を実施します。	C:検討中(実施時期未定)		B:実施できなかったが、次年度実施予定	空き家予防のための相談窓口事業の検討を行った。	A:実施した	・民間団体と連携し、法律や不動産活用、建物の改修等の専門的な内容に対応可能な空き家電話相談窓口を開設した。 ・居住支援協議会や民間団体等と連携し、住まいに関する相談会やセミナーを実施した。	A 実施した	・民間団体と連携し、法律や不動産活用、建物の改修等の専門的な内容に対応可能な空き家電話相談窓口を運営した。 ・居住支援協議会や民間団体等と連携し、住まいに関する相談会やセミナーを実施した。	A 実施した	・民間団体と連携し、法律や不動産活用、建物の改修等の専門的な内容に対応可能な空き家電話相談窓口を運営した。 ・居住支援協議会や民間団体等と連携し、住まいに関する相談会やセミナーを実施した。	都市基盤部
ソフト	5	利用しやすいわかりやすい区のサービスづくり												
	5	1 全ての人が円滑に利用できるサービス・事業の充実												
	5	1	区が提供する各種サービス・事業について、手話通訳やタブレット端末による多言語通訳・翻訳の活用を進めるほか、案内方法、申込み手続やサービスの提供方法・窓口の環境等の点検・見直し・改善を進めます。	A:実施した	【行政サービス総点検】 窓口環境のユニバーサルデザインについて全庁的に調査をし、点検を行った。また、中野区改善運動「ちよこっと改善提案」と連携し、上記点検結果の改善を各課に促した。	A:実施した	【行政サービス総点検】 すべての人にとってわかりやすいサービスの提供のために、申請書類や案内書類について全庁的に調査をし、点検を行った。また、中野区改善運動「ちよこっと改善提案」と連携し、上記点検結果の改善を各課に促した。	B:実施できなかったが、次年度実施予定		A:実施した	ユニバーサルデザインの観点から、イベント開催時の注意点を全庁に周知し、見直し・改善を促した。	A:実施した	ユニバーサルデザインの観点から、窓口対応時の注意点を全庁に周知し、見直し・改善を促した。	企画部
	5	1	区が提供する各種サービス・事業について、手話通訳やタブレット端末による多言語通訳・翻訳の活用を進めるほか、案内方法、申込み手続やサービスの提供方法・窓口の環境等の点検・見直し・改善を進めます。	A:実施した	(地域支えあい推進部) 聴覚や、発語に障害のある方向けに、コミュニケーションボード(磁気ボード)を用意した。 (環境部) ・審議会、子ども向け啓発事業に手話通訳対応の予算措置を行っている。 ・区民に対して書類の記載を求める場合等については、今後も職員がマンツーマンで対応するよう努めていく。 (選挙管理委員会事務局) 筆談用のボードを窓口に設置し、申込み手続の利便性向上に努めた。	A:実施した	(区民部) 庁内窓口をはじめ、庁外窓口や区立学校へAI多言語通訳システムを導入した。 (区民部) 選挙管理委員会事務局)筆談用のボードを窓口に設置し、申込み手続等の利便性向上に努めた。また新型コロナウイルスの飛沫感染防止のため、窓口にアクリル板を設置している。	A:実施した	(区民部) 2020年度より導入したAI多言語通訳システムについて、職員が利用しやすいよう運用を見直した。 (選挙管理委員会事務局) 筆談用のボードを窓口に設置し、申込み手続等の利便性向上に努めた。また新型コロナウイルスの飛沫感染防止のため、窓口にアクリル板を設置している。	A:実施した	(教育委員会事務局) 小・中学校一年生を対象に実施している心臓病検診の調査票について、多言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、ネパール語、ミャンマー語)に翻訳を行った。 (区民部) 区役所1階総合案内窓口をはじめとした窓口のある庁内各課、各地域事務所、各すこやか福祉センター、各小中学校等に音声機械通訳機能と三者間通訳機能を搭載したタブレット54台を配備。機械通訳、三者間通訳において英語、中国語、ネパール語の使用が多い。機械通訳においては年間で2,712件、三者間通訳においては年間で314件利用されている。	A:実施した	(区民部) 令和6年度特別区民税・都民税申告書発送(当初)にかかる封筒に音声コード「Uni-Voice」を印字した。 発送分:13,738枚 区納品分:6,000枚 (教育委員会事務局) ・就学時健康診断のお知らせをタガログ語、ネパール語、ミャンマー語、英語、韓国語、中国語に翻訳。 ・就学時健康診断票をタガログ語、ネパール語、ミャンマー語に翻訳。	各部
	5	1	申請書類等の様式や記入要領・記入例などが全ての人にとって見やすくわかりやすいものとなるよう点検・見直し・改善を進めます。	A:実施した	【申請書・証明書等における性別記載の点検】 区民に提出を求める申請書等及び区民に交付する証明書等のうち、性別の記載を求めている書類を調査対象とする。性別記載の必要性の有無、削除・見直しの可否について調査及び点検を行った。	A:実施した	【申請書・証明書等における性別記載の点検】 2019年度と同様の点検を行う。 【行政サービス総点検】 使用している申請書等の書類がユニバーサルデザインであるか点検を行った。また、中野区改善運動「ちよこっと改善提案」と連携し、上記点検結果の改善を各課に促した。	A:実施した	【申請書・証明書等における性別記載の点検】 前年度と同様に点検を行う。	A:実施した	【申請書・証明書等における性別記載の点検】 前年度と同様に点検を行った。	A:実施した	【申請書・証明書等における性別記載の点検】 前年度と同様に点検を行った。	企画部
				A:実施した	(地域支えあい推進部) 申請書や、区民・事業者向けの書類をわかりやすくなるよう見直しを図った。 (選挙管理委員会事務局) 見直しの結果、申請書に記入例がないものが判明したので、記入例を作成した。	A:実施した	(区民部) ・「施設利用者登録申込書」の書き方見本を窓口に設置した(ZERO本館)。 ・「施設利用者登録申込用紙」にルビをつけた用紙を使用している(ZERO本館)。 (選挙管理委員会事務局) 申請書の記入について、よりわかりやすいように修正した。	—	—	A:実施した	(環境部) ・従来は紙での申請だった建築リサイクル法に基づく届出をLoGoフォーム対応とすることで、記入例が同時に表示できるなど申請者が見やすく、記入しやすいものとした。 ・従来は窓口には台帳を置いて情報提供をしていた工場・指定作業場台帳をHP公開することで、区内での土地購入や売買時に必要な土壌汚染対策に関わる情報が見やすくなった。	各部		

基本理念	施策の方向	主な取組		2019年度の取組実績		2020年度の取組実績		2021年度の取組実績		2022年度の取組実績		2023年度の取組実績		現所管部
	5	1	いつでもどこでも必要な行政サービスの手続ができるよう電子申請手続の拡大やスマートフォン対応などを進めます。	A:実施した	行政手続における電子申請の利用割合:62.2%	A:実施した	行政手続における電子申請の利用割合:59.2%	A:実施した	行政手続における電子申請の利用割合:69.5%	A:実施した	行政手続における電子申請の利用割合:73.5%	A:実施した	行政手続における電子申請の利用割合:74.0%	総務部
				A:実施した	(地域支えあい推進部) 地域活動コーディネーター養成講座の参加申し込み及び、公益活動団体の取組における寄付を電子申請でも受け付けた。 (環境部) 電子申請ができる事業については、見直しを検討した。ただし、公害対策関連の申請添付書類は、数と量が多く電子申請に適さない。	A:実施した	(環境部) 現行では公害対策関連の電子申請は適さないが、メール申請を始めた自治体の運用などの情報を収集し、採用するか検討した。 高断熱建築認証制度の電子申請を追加した。	A:実施した	(選挙管理委員会事務局) すでに電子申請ができる手続きは電子申請手続きが可能となっている。	A:実施した	(企画部) ・イベント開催時には電子申請手続での受付を検討・実施している。 ・新たに性的マイノリティ相談事業で電子申請手続での受付を開始した。	A:実施した	(環境部) ・建設リサイクル法に基づく届出を紙での窓口申請からLoGoフォーム対応とすることで、届出をする事業者及び発注主である区民がいつでもどこでも申請できるようになり、窓口来庁者数も減少しサービスの向上につながった。 ・工場・指定作業場台帳は従来は窓口でしか確認できなかったが、HP公開することで、区内での土地購入や売買時に必要な土壌汚染対策に関わる情報を入手しやすくした。	各部
	5	1	区の窓口や施設等で区民が利用する机・椅子等の備品、文房具等について、ユニバーサルデザインの視点で配慮された商品の活用を進めます。	A:実施した	【行政サービス総点検】 窓口環境のユニバーサルデザインについて全庁的に調査をし、点検を行った。また、中野区改善運動「ちょこっと改善提案」と連携し、上記点検結果の改善を各課に促した。	A:実施した	【行政サービス総点検】 すべての人にとってわかりやすいサービスの提供のために、申請書類や案内書類について全庁的に調査をし、点検を行った。また、中野区改善運動「ちょこっと改善提案」と連携し、上記点検結果の改善を各課に促した。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ・ユニバーサルデザインやユニバーサルデザインの視点で配慮された商品について広く理解を得るため、中野区役所ロビー及び中野駅ガード下ギャラリーにて普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ・ユニバーサルデザインやユニバーサルデザインの視点で配慮された商品について広く理解を得るため、明治大学中野キャンパスでの催事内で普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインやユニバーサルデザインの視点で配慮された商品について広く理解を得るため、明治大学中野キャンパスでの催事内及び中野駅ガード下ギャラリーでパネルとユニバーサルデザイン製品展示による普及啓発を行った。 【区有施設のユニバーサルデザイン製品の設置】 区民活動センターの調理室にユニバーサルデザイン製品を設置した。区民がユニバーサルデザイン製品を実際に使用する機会を創出し、普及啓発を行った。	企画部
				A:実施した	(環境部) 適宜見直し、改善を行った。	A:実施した	(環境部) 申請窓口にローカウンターを追加整備した。	—	—	—	—	A:実施した	(総務部) 新庁舎の窓口カウンターや待合スペース等、来庁者が利用する什器については、ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが安全で使いやすい製品を選定している。	各部
	5	2	災害時の迅速な情報提供と要支援者への配慮											
	5	2	迅速かつ確実に情報が伝わるよう、多様な手法・手段による災害情報の発信を進めます。避難所単位で避難行動要支援者名簿を作成するとともに、災害時個別避難支援計画書の作成・更新を進め、避難支援や避難所運営において、要支援者の状況に応じた必要な支援や対応を進めます。	A:実施した	【災害時個別避難支援計画書実績】 令和元年度末 調査対象者34,891人 調査修了者31,318人 計画作成者14,173人	A:実施した	【災害時個別避難支援計画書実績】 令和2年度末 調査対象者35,436人 調査修了者31,909人 計画作成者15,501人	A:実施した	【災害時個別避難支援計画書実績】 令和3年度末 調査対象者35,874人 調査修了者33,360人 計画作成者16,644人	A:実施した	【災害時個別避難支援計画書実績】 令和4年度末 調査対象者36,108人 調査修了者34,399人 計画作成者16,769人	A:実施した	【災害時個別避難支援計画書実績】 令和5年度末 調査対象者 35,332人 調査終了者 33,103人 計画書作成者16,578人	地域支えあい推進部
				A:実施した	防災行政無線の屋外拡声子局の戸別受信機を要配慮者施設へ設置(9施設)	A:実施した	・防災行政無線の屋外拡声子局の戸別受信機を要配慮者施設へ設置(12施設) ・ハザードマップの多言語化を実施	A:実施した	・防災行政無線の屋外拡声子局の戸別受信機を要配慮者施設へ設置(11施設) ・ハザードマップの多言語化を実施	A:実施した	・防災行政無線の屋外拡声子局の戸別受信機を要配慮者施設へ設置(11施設) ・ハザードマップの多言語化を実施	A:実施した	・防災行政無線の屋外拡声子局の戸別受信機を要配慮者施設へ設置(11施設) ・ハザードマップの多言語化を実施	総務部
	5	3	ユニバーサルデザインに配慮した計画の策定											
	5	3	区が策定する各種計画や方針にユニバーサルデザインの視点を盛り込むとともに、計画等の内容をわかりやすく伝えるための概要版の作成や音声コードの導入を進めます。	A:実施した	ユニバーサルフォントの活用などにより見やすさに配慮した。音声コード対応は、今後も検討を続ける。	A:実施した	ユニバーサルフォントの活用などにより見やすさに配慮した。音声コード対応は、今後も検討を続ける。	A:実施した	ユニバーサルフォントの活用などにより見やすさに配慮した。音声コード対応は、今後も検討を続ける。	A:実施した	ユニバーサルフォントの活用などにより見やすさに配慮した。音声コード対応は、今後も検討を続ける。	A:実施した	・ユニバーサルフォントの活用などにより見やすさに配慮した。 ・2024年2月に策定したユニバーサルデザイン推進計画(第2次)に音声コードを導入した。	企画部
				A:実施した	(地域支えあい推進部) 「中野区再犯防止推進計画」の策定に向け、わかりやすい概要版や音声コードの導入についても検討した。	A:実施した	(地域支えあい推進部) 「中野区再犯防止推進計画」概要版を作成し、全ての漢字にフリガナを付けたほか、音声コードも導入した	A:実施した	(区民部) 中野区生涯学習スポーツ情報紙「ないせす」において、音声版である「声のないせす」を視覚障害者向けに発行している。	A:実施した	(地域支えあい推進部) 「災害時個別避難支援計画書」の送付用封筒に音声コードの印字を行った。	A:実施した	(健康福祉部) 健康福祉総合推進計画について、概要版を作成するとともに、音声コードを付与した。	各部
	6	地域で気軽に楽しく学べる場づくり												
	6	1	スポーツ・健康づくりを楽しめる環境の拡充											
	6	1	高齢者や障害者をはじめ全ての人々が仲間とともに交流しながらスポーツ・健康づくりを楽しめる環境づくりを進めます。	A:実施した	中部及び南部に加え、鷺宮にスポーツ・コミュニティプラザを開設し、年代、性別、障害の有無を問わず、スポーツに取り組めるよう事業を展開した。	A:実施した	平和の森公園内に中野区立総合体育館を開設し、多様で幅広い世代の区民が、スポーツや健康づくりを楽しめる環境を整備した。	A:実施した	各スポーツ施設等において、多様で幅広い世代の区民が、スポーツや健康づくりを楽しめる教室事業やイベント等を実施した。	A:実施した	各スポーツ施設等において、多様で幅広い世代の区民が、スポーツや健康づくりを楽しめる教室事業やイベント等を実施した。	A:実施した	各スポーツ施設等において、多様で幅広い世代の区民が、スポーツや健康づくりを楽しめる教室事業やイベント等を実施した。	健康福祉部
	6	1	高齢者を対象とした「元気アップシリーズ」(体操・運動・測定)の普及・拡充などに取組むとともに、地域における住民主体の高齢者のための通いの場づくりの支援を進めます。	A:実施した	【なかの元気アップ体操ひろば】 週1回1時間程度、民間施設6箇所 延5,507人が参加 【住民主体サービス実施団体】 ・通所型-19団体 ・訪問型-2団体	A:実施した	新型コロナウイルスの感染拡大により休止及び実施内容を一部変更して実施 【なかの元気アップ体操ひろば】 週1回30分の入替制、民間施設6箇所のほか、オンラインでも実施。延2,364人が参加 【住民主体サービス実施団体】 ・通所型-18団体 ・訪問型-2団体	A:実施した	【なかの元気アップ体操ひろば】 週1回30分の前後半入替制、民間施設6箇所のほか、オンラインでも実施。新型コロナウイルス感染症の影響により会場開催ができない場合も代替としてオンラインで実施。延3,677人が参加 【住民主体サービス実施団体】 ・通所型-18団体 ・訪問型-2団体	A:実施した	【なかの元気アップ体操ひろば】 週1回30分の前後半入替制、民間施設6か所のほか、オンラインでも実施。新型コロナウイルス感染症の影響により会場開催ができない場合も代替としてオンラインで実施。延5,855人が参加 【住民主体サービス実施団体】 ・通所型-20団体 ・訪問型-1団体	A:実施した	【なかの元気アップ体操ひろば】 週1回30分の前後半入替制、民間施設6か所のほか、オンラインでも実施。延6,863人が参加 【住民主体サービス実施団体】 ・通所型-21団体 ・訪問型-1団体	地域支えあい推進部

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の実績		2020年度の実績		2021年度の実績		2022年度の実績		2023年度の実績		現所管部	
	6	2	全ての人が学べる環境の拡充											
	6	2	歴史民俗資料館は、常設展示等を更新し多言語化などを進めるとともに、トイレを改修し、誰でも楽しく学べる場としての環境を整備します。	A:実施した	・常設展示の解説パネル一部に英語での併記を行った。また館内案内のリーフレットについて、日本語版と英語版の2種類を作成した。 ・なお、トイレの改修は2018年度に実施済みである。	ー:評価不能(隔年実施、事業終了など)	ー	ー:評価不能(隔年実施、事業終了など)	ー	ー:評価不能(隔年実施、事業終了など)	ー	ー:評価不能(隔年実施、事業終了など)	区民部	
	6	2	地域開放型学校図書館の整備を進めるほか、なかのZERO、図書館、区民活動センター、高齢者会館などにおいて、仲間とともに学び、交流する機会を提供します。また、施設内表示のユニバーサルデザイン化を進めます。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・安全で快適に利用できる高齢者会館となるよう、トイレの洋式化等の改修を行った(高齢者会館 1か所)。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・安全で快適に利用できる高齢者会館となるよう、トイレの洋式化等の改修を行った(高齢者会館2か所。その他、高齢者施設2か所においてもトイレ改修工事を行った)。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・高齢者会館において、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を促しながら、活動の場を提供するなど地域における活動を支援した。 ・高齢者会館において、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・電子掲示板アプリケーション「ためまっぴななかの」を活用し区民活動センター集会室の空き状況を掲載し、見える化を図った。 ・高齢者会館において、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。	地域支えあい推進部
				A:実施した	【なかのZERO】 ・「9/8コバーン・イシュトバーン クラリネットリサイタル」都内在住ひとり親世帯 21名ご招待 ・「10/4上原彩子 ピアノリサイタル」都内在住ひとり親世帯 34名ご招待	A:実施した	【なかのZERO】 6/20 「Eバー-ルパ」魔法の笛と鈴」(区内小学校支援学級との連携) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より公演中止	A:実施した	社会福祉法人愛成会となかのZERO指定管理者の共催により、障害者をはじめとしたさまざまな人が芸術に親しみ、交流するワークショップ・展覧会事業「アトリエpangaea(パンゲア)」の一環として、同事業の作品展覧会を実施した。	A:実施した	・社会福祉法人愛成会となかのZERO指定管理者の共催により、障害者をはじめとしたさまざまな人が芸術に親しみ、交流する「アトリエpangaea(パンゲア)」のワークショップ・展覧会を実施した。 ・なかの生涯学習サポーターの会となかのZERO指定管理者の共催により、ユニバーサルデザインマップ作成講座を開催した。	A:実施した	・「アトリエpangaea展覧会・ワークショップ(社会福祉法人愛成会と指定管理者の共催事業)」を実施した。 ・ユニバーサルデザインマップ作成講座(なかの生涯学習サポーターの会と指定管理者の共催事業)を実施した。 ・ユニバーサルデザインによるミュージカルオペラ(指定管理者の主催事業)を実施した。	区民部
				D:未着手(検討していない)		A:実施した	みなみの・美鳩・中野第一小学校内に地域開放型学校図書館の開設準備を行った。	A:実施した	4月にみなみの・美鳩・中野第一小学校内に地域開放型学校図書館の開設し、利用状況等の検証を行った。	A:実施した	・2021年4月に開設したみなみの・美鳩・中野第一小学校内の地域開放型学校図書館を適切に運営した。 ・運営状況の検証については、区民による図書館サービス等検討会により、検討を行った。	A:実施した	・2021年4月に開設したみなみの・美鳩・中野第一小学校内の地域開放型学校図書館を適切に運営した。 ・運営状況の検証については、区民による図書館サービス等検討会により、検討を行い、9月に「図書館サービス・配置の基本的な考え方」を策定した。	教育委員会事務局
	7	地域における利用しやすいサービス・商品づくり												
	7	1	便利で魅力ある商店街の整備											
	7	1	多言語に対応したホームページやマップの作成、ハラル対応など、商店街・地域連携による国際化対応事業を支援するほか、商店街へのだれでもトイレ設置、障害者・高齢者用のサイン表示や案内表示の設置・改修、授乳・おむつ替え等スペース設置などの事業を誘導します。	A:実施した	以下の事業(1件)を行った。 (1)多言語ホームページ制作(鍋横大通商店会)	A:実施した	以下の事業(3件)を行った。 (1)多言語ホームページ(中野北口十字路商店会) (2)「サイン・ヒストリー作成・貼付」街路灯プロジェクト(中野北口昭和新道商店街) (3)館内案内ウォールステッカー(中野ブロードウェイ商店街振興組合) ※(2)は商店街の24本の街路灯に、商店街のヒストリーや案内サインを多言語化して表記した。 ※(3)は、商店街の館内案内を多言語化した。	A:実施した	区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、国際課事業への補助について案内を行った。	A 実施した	区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、国際課事業への補助について案内を行った。	A 実施した	区内全商店街に補助制度の案内(マニュアル)を配布し、国際課事業への補助について案内を行った。	区民部
	7	2	ユニバーサルデザインに資する事業創出の支援											
	7	2	区内で起業を目指す方や新たな事業展開を考えている事業者に対するセミナーや相談など創業支援の取組の一環として、全ての人が利用しやすいサービス・商品を生み出す事業が創出されるよう支援します。	A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A 実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A 実施した	ユニバーサルデザイン関連創業等支援セミナー(女性の再就職セミナー含む)を実施した。	区民部
	7	3	地域のサービス提供のユニバーサルデザイン化への支援											
	7	3	地域での見守り支えあいや居場所づくりなど様々な取組にユニバーサルデザインの視点が取り入れられ、全ての人が地域で支えあいながら安心して暮らせるよう支援します。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、区役所ロビーにおいて普及啓発を行った。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、区民が多く通行する中野駅ガード下ギャラリーにて普及啓発を行った。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、中野区役所ロビー及び中野駅ガード下ギャラリーにて普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ・ユニバーサルデザインやユニバーサルデザインの視点で配慮された商品について広く理解を得るため、明治大学中野キャンパスでの催事内で普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ・ユニバーサルデザインやユニバーサルデザインの視点で配慮された商品について広く理解を得るため、明治大学中野キャンパスでの催事内で普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。 【区有施設のユニバーサルデザイン製品の設置】 区民活動センターの調理室にユニバーサルデザイン製品を設置した。区民がユニバーサルデザイン製品を実際に使用する機会を創出し、普及啓発を行った。	企画部
				A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・安全で快適に利用できる高齢者会館となるよう、トイレの洋式化等の改修を行った(高齢者会館 1か所)。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・安全で快適に利用できる高齢者会館となるよう、トイレの洋式化等の改修を行った(高齢者会館2か所。その他、高齢者施設2か所においてもトイレ改修工事を行った)。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・高齢者会館において、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・高齢者会館において、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。	A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・高齢者会館において、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。	地域支えあい推進部

基本理念	施策の方向	主な取組		2019年度の取組実績		2020年度の取組実績		2021年度の取組実績		2022年度の取組実績		2023年度の取組実績		現所管部
	8 わかりやすい情報を簡単に得られる環境づくり													
	8	1	ICTを活用した区政情報等の発信											
	8	1	Nakano Free Wi-Fi サービス等を活用し、多様な方法で効果的な情報発信を進めます。	A:実施した	Nakano Free Wi-Fiと連動した地域情報サービスで、多言語によるエリア情報を提供している。	A:実施した	Nakano Free Wi-Fiと連動した地域情報サービスで、多言語によるエリア情報を提供している。	A:実施した	Nakano Free Wi-Fiと連動した地域情報サービスで、多言語によるエリア情報を提供している。	A:実施した	Nakano Free Wi-Fiと連動した地域情報サービスで、多言語によるエリア情報を提供している。	一:評価不能(隔年実施、事業終了など)	Wi-Fiの運用及び地図情報の活用について、総合的な情報施策の中でそのあり方を検討した結果、令和4年5月にWi-Fiサービスを終了した。	区民部
	8	1	区が保有している行政データを二次元利用可能なオープンデータとして公開し、簡単にデータ検索や入手が行える環境の整備を進めます。	A:実施した	・オープンデータの取り組み開始等 ・年度末時点オープンデータ公開数:19件	A:実施した	・オープンデータ公開数の拡充に向けた取り組み等 ・年度末時点オープンデータ公開数:39件	A:実施した	・オープンデータ公開数の拡充に向けた取り組み等 ・2021年度末時点オープンデータ公開数:46件(2020年度から8件増加、1件削除)	A:実施した	・オープンデータ公開数の拡充に向けた取り組み等 ・2022年度末時点オープンデータ公開数:56件(2021年度から10件増加)	A:実施した	・オープンデータ公開数の拡充に向けた取り組み等 ・2023年度末時点オープンデータ公開数:154件(2022年度から98件増加)	総務部
	8	1	インターネットを活用し、過去から現在までの一定の区政情報を閲覧できる区政情報の閲覧室を構築し、運営を行います。	A:実施した	オープンデータの推進に合わせ、区ホームページを中心とした区政情報の発信について検討した。	A:実施した	オープンデータの推進に合わせ、区ホームページを中心とした区政情報の発信について検討した。	A:実施した	ホームページや新たなデジタルツールによって提供される情報が、誰にでも探しやすいよう整備することを前提に区ホームページの全面リニューアルに向け、必要な機能の検討を進めた。	A:実施した	ホームページや新たなデジタルツールによって提供される情報が、誰にでも探しやすいよう整備することを前提に区ホームページの全面リニューアルに向け、必要な機能の検討を進めた。	A:実施した	ホームページや新たなデジタルツールによって提供される情報が、誰にでも探しやすいよう整備することを前提に区ホームページを全面リニューアルした。	企画部
	8	2	地域のユニバーサルデザイン情報の発信											
	8	2	障害等の有無にかかわらず全ての人の外出を支援し、社会参加を進めるため、区のホームページで情報提供する「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんほっとスペース」などで、区内のだれでもトイレ、スロープ、エレベーター、点字や音声案内、おむつ替え等スペースなどの情報をわかりやすく提供します。	A:実施した	区ホームページに掲載している「なかの便利地図」で「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんホットスペース」などの情報を提供した。	A:実施した	区ホームページに掲載している「なかの便利地図」で「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんホットスペース」などの情報を提供した。	A:実施した	区ホームページに掲載している「なかの便利地図」で「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんホットスペース」などの情報を提供した。	A:実施した	区ホームページに掲載している「なかの便利地図」で「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんホットスペース」などの情報を提供した。	A:実施した	・区ホームページに掲載している「なかの便利地図」で「バリアフリーマップ」や「赤ちゃんホットスペース」などの情報を提供した。 ・中野区公式LINEに施設情報を登録し、位置情報検索から、授乳やおむつ替えができる最寄りの施設を調べることができるようにした。	企画部
				A:実施した	なかの便利地図「バリアフリーマップ」掲載施設(区施設:304か所、民間施設(駅、郵便局等):46か所)について、掲載情報の確認及び更新を行った。	A:実施した	なかの便利地図「バリアフリーマップ」掲載情報について確認及び更新を行った。また、公有財産簿等を参考に、未掲載施設の抽出及び調査を行い、掲載施設を追加した(区施設6か所、民間施設13か所)。	A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例施行規則の改正に伴い、「だれでもトイレ」の表示基準について庁内の関係部署と検討を行った。	A:実施した	国土交通省の定めたマニュアルをもとに、なかの便利地図「バリアフリーマップ」の掲載項目について整理を行い、バリアフリーマップのリニューアルに向けたスケジュールを作成した。	A:実施した	前年度に見直しを行った掲載項目により区内施設所管及び民間施設に設備設置状況調査を実施し、バリアフリーマップのリニューアルを行った。	健康福祉部
				A:実施した	所管する施設についてはバリアフリーマップに掲載済み。	A:実施した	所管する施設についてはバリアフリーマップに掲載済み。	A:実施した	所管する施設についてはバリアフリーマップに掲載済み。	A:実施した	所管する施設についてはバリアフリーマップに掲載済み。	A:実施した	所管する施設についてはバリアフリーマップに掲載済み。	地域支えあい推進部
				A:実施した	「赤ちゃんほっとスペース」設置施設に対し、確認調査を行い、中野区ホームページ掲載情報の更新作業を行った。	A:実施した	「赤ちゃんほっとスペース」所在地等の情報を中野区ホームページに掲載し、廃止・変更の連絡を受けて随時更新を行った。	A:実施した	「赤ちゃんほっとスペース」所在地等の情報を中野区ホームページに掲載し、新規登録・廃止・変更の連絡を受けて随時更新を行った。	A:実施した	「赤ちゃんほっとスペース」所在地等の情報を中野区ホームページに掲載し、新規登録・廃止・変更の連絡を受けて随時更新を行った。	A:実施した	「赤ちゃんほっとスペース」所在地等の情報を中野区ホームページに掲載し、新規登録・廃止・変更の連絡を受けて随時更新を行った。位置情報検索から最寄り授乳やおむつ替えができる施設を調べることができるようにした。	子ども教育部
	8	3	ユニバーサルデザインに配慮した広報物等の作成											
	8	3	全てのの人にとって読みやすく、わかりやすい情報を発信するため、文字の大きさや配色など基本的事項を定めた情報発信のユニバーサルデザインガイドラインを策定し、ガイドラインに基づく広報物等の作成及び既存広報物等の点検、見直し・改善を進めます。	A:実施した	なかの区報をオールカラーにし、ユニバーサルデザインに配慮した文字や色を使用するなど、誰にとっても読みやすい紙面にリニューアルした。	A:実施した	広報クリニックを実施し、各課が作成する広報物(チラシ、動画)をユニバーサルデザインの観点から、見直し・改善を図った。	A:実施した	広報クリニックを実施し、各課が作成する広報物(チラシ、動画)をユニバーサルデザインの観点から、見直し・改善を図った。	A:実施した	広報クリニックを実施し、各課が作成する広報物(チラシ、動画)をユニバーサルデザインの観点から、見直し・改善を図った。	A:実施した	広報クリニックを実施し、各課が作成する広報物(チラシ、動画)をユニバーサルデザインの観点から、見直し・改善を図った。	企画部
				A:実施した	(区民部) 中野区生涯学習スポーツ情報紙「ないせす」について、音声版である「声のないせす」を視覚障害者向けに発行している。 (地域支えあい推進部) 情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づき、高齢者向け通知やチラシのほか、各種チラシやポスター、手引きなどの見直し・改善を進めている。 (選挙管理委員会事務局) 投票所入場整理券や選挙の案内のレイアウトについて、ユニバーサルデザインの考え基に作成した。	A:実施した	(区民部) 中野区生涯学習スポーツ情報紙「ないせす」について、音声版である「声のないせす」を視覚障害者向けに発行している。 (地域支えあい推進部) 情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づき、高齢者向け通知やチラシのほか、各種チラシやポスター、手引きなどの見直し・改善を進めている。 (選挙管理委員会事務局) 投票所入場整理券や選挙の案内のレイアウトについて、ユニバーサルデザインの考え基に作成した。	A:実施した	(区民部) 中野区生涯学習スポーツ情報紙「ないせす」について、音声版である「声のないせす」を視覚障害者向けに発行している。 (地域支えあい推進部) 情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づき、通知やチラシのほか、各種チラシやポスター、手引きなどの見直し・改善を進めている。 (選挙管理委員会事務局) 投票所入場整理券や選挙の案内のレイアウトについて、ユニバーサルデザインの考え基に作成した。	A:実施した	(環境部) ・建築リサイクル法に基づく届出をLoGoフォームでの電子申請とすることで、文字の大きさなど利用者にとって見やすいものとなった。 ・工場・指定作業場台帳をHP公開することで、区内での土地購入や売買時に必要な土壌汚染対策に関わる情報を入手しやすく、文字検索ができるようになりわかりやすくなった。	各部		
	8	3	全てのの人にわかりやすい「やさしい日本語」による広報を進めます。	C:検討中(実施時期未定)		A:実施した	区ホームページで、新型コロナウイルス感染症の注意喚起や相談窓口、特別定額給付金などについて「やさしい日本語」のページを作成した。	A:実施した	区ホームページで、新型コロナウイルス感染症の注意喚起や相談窓口、ワクチン接種や防災関連情報などについて「やさしい日本語」のページを作成した。	A:実施した	区ホームページで、新型コロナウイルス感染症の注意喚起や相談窓口、ワクチン接種や防災関連情報などについて「やさしい日本語」のページを作成した。	A:実施した	区ホームページで、防災関連情報などについて「やさしい日本語」による広報を実施した。	企画部
				—	—	A:実施した	(区民部) ・「外国人のためのなかの生活ガイドブック」作成 区役所での手続きや日本での生活、相談窓口等について、やさしい日本語、英語、中国語(簡体字)、ハングルの4カ国語で併記している。 (選挙管理委員会事務局) 「やさしい日本語」を使って広報物を作成・見直しを行っている。	A:実施した	(区民部) ・「外国人のためのなかの生活ガイドブック」作成 区役所での手続きや日本での生活、相談窓口等について、やさしい日本語、英語、中国語(簡体字)、ハングルの4カ国語で併記している。 ・職員向けやさしい日本語研修を実施した。 (選挙管理委員会事務局) 「やさしい日本語」を使って広報物を作成・見直しを行っている。	A:実施した	(区民部) ・「中野区多文化共生推進基本方針【概要版】」においてやさしい日本語版で周知 ・「外国人のためのなかの生活ガイドブック」及び当ガイドブックの周知用チラシにおけるやさしい日本語の表記	A:実施した	(区民部) ・職員向けやさしい日本語研修を実施した。 ・やさしい日本語ガイドラインの一部公開を行った。(ガイドライン第1回を区ホームページに掲載)	各部

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の取組実績		2020年度の取組実績		2021年度の取組実績		2022年度の取組実績		2023年度の取組実績		現所管部	
ハート	9	違いを超えて尊重しあう心を育む教育環境づくり												
	9	1	学校等におけるユニバーサルデザインの推進											
	9	1	人権教育や道徳教育をさらに充実し、違いを超えて誰もが尊重される社会を実現することができる資質・能力を育みます。	A:実施した	・道徳教育推進教師研修を年2回実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・東京都人権尊重教育推進校として江古田小学校が研究発表を実施 ・中野区教育委員会「学校教育向上事業」において鷺宮小学校・西中野小学校・第八中学校が「自己肯定感を高める児童・生徒の育成の工夫 ～小中連携教育を通して～」という研究主題で研究発表の実施 ・中野区人権教育推進委員会による授業実践及び人権教育推進資料の作成・配布	A:実施した	・道徳教育推進教師研修を年2回実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・中野区人権教育推進委員会による授業実践及び人権教育推進資料の作成・配布 ・初任者研修、2年次研修において特別の教科 道徳の授業力向上に向けた研修の実施	A:実施した	・道徳教育推進教師研修を年2回実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・東京都人権尊重教育推進校として平和の森小学校が2年間の研究実践の成果を発表 ・中野区人権教育推進委員会による授業実践及び人権教育推進資料の作成・配布 ・初任者研修、2年次研修において特別の教科 道徳の授業力向上に向けた研修の実施	A:実施した	・道徳教育推進教師研修を年2回実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・中野区人権教育推進委員会による授業実践及び人権教育推進資料の作成・配布 ・初任者研修、2年次研修において特別の教科 道徳の授業力向上に向けた研修の実施	A:実施した	・道徳教育推進教師研修を年2回実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・中野区人権教育推進委員会による授業実践及び人権教育推進資料の作成・配布 ・初任者研修、2年次研修において特別の教科 道徳の授業力向上に向けた研修の実施	教育委員会事務局
	9	1	グローバル人材を育成する教育の取組として、外国語活動及び外国語の学習を充実し、言語や他国の文化を理解し、尊重する態度を育てるとともに、自分の考えを伝えあえるコミュニケーション能力を育てます。	A:実施した	・小学校外国語活動研修を実施。	A:実施した	・英語教育研修会を年2回実施 ・英語教育アドバイザー事業を全小学校に実施 ・TOKYO GLOBAL GATEWAYへの参加補助事業を全小学校4年生に実施 ・日本英語検定受験料補助事業を全中学校3年生に実施	A:実施した	・英語教育研修会を年2回実施 ・英語教育アドバイザー事業を全小学校に実施 ・TOKYO GLOBAL GATEWAYへの参加補助事業を小学校4年生に実施(新型コロナウイルス感染症の影響で3校は2022年度に延期) ・日本英語検定受験料補助事業を全中学校3年生に実施	A:実施した	・英語教育研修会を年2回実施 ・英語教育アドバイザー事業を全小学校に実施 ・TOKYO GLOBAL GATEWAYへの参加補助事業を小学校4年生に実施(新型コロナウイルス感染症の影響で3校は2022年度に延期) ・日本英語検定受験料補助事業を全中学校3年生に実施	A:実施した	・英語教育研修(小・中合同)、英語教育アドバイザー研修(派遣型、集合型)を実施 ・TOKYO GLOBAL GATEWAYへの参加補助事業を全小学校4年生に実施 ・中学校第1学年の宿泊による英語体験活動の実施 ・日本英語検定受験料補助事業を第1・2回は3年生、第3回は2年生を対象に実施	教育委員会事務局
	9	1	オリンピック・パラリンピック教育の充実により、日本人としての自覚と誇りをもち、他国の文化を理解し尊重する豊かな国際感覚を身につけるとともに、障害者理解やボランティアマインドなど共生社会の実現に向けた資質・能力を育みます。また、この取組を大会のレガシーとして継続します。	A:実施した	・全幼稚園・小中学校において、オリンピック・パラリンピック教育実施計画書を作成し、教育課程に位置付けてオリンピック・パラリンピック教育を推進 ・みなみの小学校・中野中学校の2校が「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・桃花小学校、西中野小学校、南台小学校、みなみの小学校が「夢・未来」プロジェクト実施校としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・中野本郷小学校・中野第一小学校を「パラリンピック競技応援校」としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・第四中学校が「文化プログラム・学校連携事業」に参加し、共生社会の実現等に向けての取組を実施	A:実施した	・全幼稚園・小中学校において、オリンピック・パラリンピック教育実施計画書を作成し、教育課程に位置付けてオリンピック・パラリンピック教育を推進 ・中野区教育委員会「学校教育向上事業」において美鳩小学校が「共生社会を生きる資質・能力の育成～生活科・社会科・総合的な学習の時間を通して～」という研究主題で研究発表の実施 ・鷺宮小学校、谷戸小学校、第四中学校が「夢・未来」プロジェクト実施校としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・みなみの小学校・鷺宮小・第四中学校の3校が「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・第八中学校が「文化プログラム・学校連携事業」に参加し、共生社会の実現等に向けての取組を実施	A:実施した	・全幼稚園・小中学校において、オリンピック・パラリンピック教育実施計画書を作成し、教育課程に位置付けてオリンピック・パラリンピック教育を推進 ・中野区教育委員会「学校教育向上事業」において南中野中学校が「学校2020レガシー 地域の教育力とつながるボランティアマインドの醸成～【FOR 2050】未来に生きる力を育むための持続可能な取組を検証する～」という研究主題で研究発表の実施 ・啓明小学校が「夢・未来」プロジェクト実施校としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施 ・明和中学校が「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」としてオリンピック・パラリンピック教育の推進を実施	A:実施した	・全区立幼稚園・小中学校において、オリンピック・パラリンピック教育実施計画書を作成し、教育課程に位置付けてオリンピック・パラリンピック教育を推進	A:実施した	・全区立幼稚園・小中学校における東京2020大会のレガシーの教育課程への位置付け	教育委員会事務局
	9	1	不登校、日本語適応、LGBTなど、配慮を要する児童・生徒に対して、一人一人に応じたきめ細かな支援を進めます。	A:実施した	・教育相談室における相談受付 ・教育支援室による不登校児童・生徒の支援 ・教育相談研修を年2回実施 ・日本語指導員等派遣事業の実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・区委嘱委員による人権教育推進委員会を年4回実施。人権教育推進資料を作成	A:実施した	・教育相談室における相談受付 ・教育支援室による不登校児童・生徒の支援 ・教育相談研修を年2回実施 ・日本語指導員等派遣事業の実施 ・教育支援室による日本語指導教室の実施 ・人権教育研修を年2回実施。 ・区委嘱委員による人権教育推進委員会を年4回実施。人権教育推進資料を作成	A:実施した	・教育相談室における相談受付 ・教育支援室による不登校児童・生徒の支援 ・教育相談研修を年2回実施 ・日本語指導員等派遣事業の実施 ・教育支援室による日本語指導教室の実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・区委嘱委員による人権教育推進委員会を年4回実施 ・人権教育推進資料を作成	A:実施した	・教育相談室における相談受付 ・教育支援室による不登校児童・生徒の支援 ・不登校児童・生徒一人一人の実態把握ときめ細かな支援法の検討 ・日本語指導員等派遣事業の実施 ・教育支援室による日本語指導教室の実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・区委嘱委員による人権教育推進委員会を年4回実施及び人権教育推進資料を作成	A:実施した	・教育相談室における相談受付 ・教育支援室による不登校児童・生徒の支援 ・不登校児童・生徒一人一人の実態把握ときめ細かな支援法の検討 ・日本語指導員等派遣事業の実施 ・教育支援室による日本語指導教室の実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・区委嘱委員による人権教育推進委員会を年4回実施及び人権教育推進資料を作成	教育委員会事務局
	9	1	保護者を対象として特別支援教育への理解促進を図ります。	A:実施した	中学校での特別支援教室が始まるため、指導内容や申込み方法について、希望する保護者へ説明会を実施	A:実施した	・各校のホームページに特別支援教室での指導について掲載 ・各学校の年度当初の保護者会等で、特別支援教育について説明	A:実施した	・各校のホームページに特別支援教室での指導について掲載 ・各学校の年度当初の保護者会等で、特別支援教育について説明	A:実施した	・各校のホームページに特別支援教室での指導について掲載 ・各学校の年度当初の保護者会等で、特別支援教育について説明	A:実施した	・全校のホームページの特別支援教育の取組についての紹介ページの充実 ・学校生活支援シートの活用の充実 ・義務教育終了後の支援への接続のあり方を確立	教育委員会事務局
				A:実施した	就学相談の案内リーフレットを作成し、保護者等に配布して特別支援教育の理解促進に努めている。	A:実施した	就学相談の案内リーフレットを作成し、保護者等に配布して特別支援教育の理解促進に努めている。	A:実施した	就学相談の案内リーフレットを作成し、保護者等に配布して特別支援教育の理解促進に努めている。	A:実施した	就学相談の案内リーフレットを作成し、保護者等に配布して特別支援教育の理解促進に努めている。	A:実施した	就学相談の案内リーフレットを作成し、保護者等に配布して特別支援教育の理解促進に努めている。	教育委員会事務局
	9	2	指導方法の充実によるわかりやすい授業の実施											
	9	2	授業改善、教員研修、校内研究の結果を全区的に活かす取組を進めながら、全ての子どもたちが「わかる」「できる」「共に学び合う」ユニバーサルデザインの授業を行います。また、デジタル福祉教材「あおぞら」を活用し、共生社会の実現に必要な資質・能力を育む学習を展開します。	A:実施した	桃園第二小学校が学校教育向上事業の指定を受け、「わかった・できた」を感じることができる授業作りの視点での授業改善に取り組んだ。	A:実施した	桃園第二小学校において、「わかった・できた」を感じることができる教育的支援の工夫について研究し、授業中の支援をまとめた資料を作成し、全校に配付して、各校でもユニバーサルデザインの視点で授業改善を行った。	A:実施した	中野中学校において中野区立中学校における合理的配慮のスタンダード確立に向けた研究を行い、個に応じた指導の充実についてまとめた資料を作成し、全校に配付して、各校でもユニバーサルデザインの視点で授業改善を行った。	A:実施した	・特別支援教室が全校に設置されたことで、特別支援教室の教員と学級担任の連携が進み授業におけるユニバーサルデザインを充実することで、全ての子どもにとってわかる授業の実現を図る。	A:実施した	・特別支援教室の巡回指導教員と学級担任の連携によって授業におけるユニバーサルデザインを充実することで、全ての子どもにとってわかる授業の実現を図る。 ・児童・生徒の実態に応じた効果的なコンテンツの整備・運用	教育委員会事務局
	9	2	性同一性障害等に対する正しい理解と認識を深めるため教職員研修等を実施します。	A:実施した	第1回人権教育研修会にて「性同一性障害」「性的指向」についての研修の実施	A:実施した	中野区人権教育推進委員会において人権課題「性同一性障害」「性的指向」を扱った授業実践の実施及び人権教育推進資料の作成・配布	A:実施した	第1回人権教育研修会にて「性同一性障害」「性的指向」についての研修の実施	A:実施した	・人権教育プログラムを活用した校内研修の実施 ・これまで作成してきた資料等を活用した人権課題「性同一性障害」「性的指向」を扱った授業研究の実施	A:実施した	・人権教育プログラムを活用した校内研修の実施 ・これまで作成してきた資料等を活用した人権課題「性同一性障害」「性的指向」を扱った授業等の実施	教育委員会事務局

基本理念	施策の方向	主な取組		2019年度の実績		2020年度の実績		2021年度の実績		2022年度の実績		2023年度の実績		現所管部
	10 ユニバーサルデザイン推進の担い手づくり													
	10	1	区職員の理解促進											
	10	1	ユニバーサルデザインの理解を深め、具体的な対応などを学ぶ研修を実施するほか、既存の研修についても、ユニバーサルデザインの視点から充実を図り実施します。	A:実施した	【ユニバーサルマナー研修】 ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を実施した。	A:実施した	【ユニバーサルマナー研修】 ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、資料学習及び映像視聴での形式で行った。	A:実施した	【ユニバーサルマナー研修】 ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を行った。	A:実施した	【ユニバーサルマナー研修】 ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を行った。	A:実施した	【ユニバーサルマナー研修】 ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を行った。	企画部
				A:実施した	聴覚障害者が参加する研修で要約筆記を実施した。	A:実施した	聴覚障害者が参加する研修で要約筆記を実施した。	A:実施した	聴覚障害者が参加する研修で要約筆記を実施した。	A:実施した	聴覚障害者が参加する研修で要約筆記を実施した。	A:実施した	eラーニングの動画コンテンツについて、字幕を追加した。	総務部
				A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向け情報誌「RE:スタート」を作成・配信を開始した。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成し、配信をした。職員研修については、新型コロナウイルス感染症対策として延期した。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成し、配信をした。職員研修については、新型コロナウイルス感染症対策として延期した。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動の支援を行っている。さらに、区職員や民生児童委員など地域の支援者向けの研修会を行い交流を図るとともに、保護司の活動事例等を共有し、生きづらさを抱えた人への配慮を学ぶ機会をつくった。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動の支援を行った。また、区職員向けの研修を行った。	地域支えあい推進部
				B:実施できなかったが、次年度実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	【職員研修「手話への理解を深める」】 3月に1回、動画視聴の方法により研修を実施し、42名が受講した。	A:実施した	【職員研修「区内障害者施設の紹介と、知的障害のある方への配慮について」】 3月に1回、動画視聴の方法により研修を実施し、50名が受講した。	A:実施した	【職員研修「障害平等研修」】 11月に1回、希望者に対する研修を実施し、24名が受講した。	A:実施した	【職員研修「障害平等研修」】 11月に1回、管理職昇任者等(管理職昇任1年目職員又は管理職候補者)及び採用2年目職員対象の職層研修として実施し、96名が受講した。	健康福祉部
	10	1	障害者、高齢者、LGBTなど多様性の理解と認識を深める研修を実施します。	A:実施した	【人権セミナー】 人権理解、多様性及びユニバーサルデザイン研修を実施した。	A:実施した	【人権セミナー】 人権理解、多様性及びユニバーサルデザイン研修を実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合形式から映像視聴に変更して行った。	A:実施した	【人権セミナー】 2021年12月7日に人権セミナーを実施した。 【中野区性的マイノリティ区民講座】 2021年11月30日に中野区性的マイノリティ区民講座を実施した。	A:実施した	【人権セミナー】 2022年12月15日に人権セミナーを実施した。 【中野区性的マイノリティ区民講座】 2023年3月15日に中野区性的マイノリティ区民講座を実施した。	A:実施した	【人権セミナー】 2023年12月14日に人権セミナーを実施した。 【中野区性的マイノリティ区民講座】 2024年3月10日に中野区性的マイノリティ区民講座を実施した。	企画部
				A:実施した	以下の職員研修を実施した。 ・手話講習会 ・「避難所運営で何が大切なのか」の実施	A:実施した	以下の職員研修を実施した。 ・避難所運営で何が大切なのか	A:実施した	以下の職員研修を実施した。 ・避難所運営で何が大切なのか ・自治体職員のためのSDGs研修	A:実施した	以下の職員研修を実施した。 人権セミナー ・やさしい日本語 ・避難所運営で何が大切なのか ・障害平等研修	A:実施した	以下の職員研修を実施した。 人権セミナー ・やさしい日本語 ・避難所運営で何が大切なのか ・障害平等研修	総務部
				A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成・配信を開始した。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成し、配信をした。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成し、配信をした。職員研修については、新型コロナウイルス感染症対策として延期した。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動の支援を行っている。さらに、区職員や民生児童委員など地域の支援者向けの研修会を行い交流を図るとともに、保護司の活動事例等を共有し、生きづらさを抱えた人への配慮を学ぶ機会をつくった。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動の支援を行った。また、区職員向けの研修を行った。	地域支えあい推進部
				B:実施できなかったが、次年度実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	【職員研修「手話への理解を深める」】 3月に1回、動画視聴の方法により研修を実施し、42名が受講した。	A:実施した	【職員研修「区内障害者施設の紹介と、知的障害のある方への配慮について」】 3月に1回、動画視聴の方法により研修を実施し、50名が受講した。	A:実施した	【職員研修「障害平等研修」】 11月に1回、希望者に対する研修を実施し、24名が受講した。	A:実施した	【職員研修「障害平等研修」】 11月に1回、管理職昇任者等(管理職昇任1年目職員又は管理職候補者)及び採用2年目職員対象の職層研修として実施し、96名が受講した。	健康福祉部
	10	2	ユニバーサルデザイン推進を担う地域人材の養成											
	10	2	ユニバーサルデザインについて、必要な知識やスキルなどをもち、地域にユニバーサルデザインの考え方を広げる区民の担い手を養成します。	A:実施した	【ユニバーサルデザインサポーター養成講座】 ・ユニバーサルマナー検定3級、障害疑似体験及びワークショップの区民向け講座を実施した。 ・18名のサポーターを養成。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	【ユニバーサルデザインサポーター養成講座】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	【ユニバーサルデザインサポーター養成講座】 ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、資料学習及び映像視聴での形式で行った。	A:実施した	【ユニバーサルデザインサポーター養成講座】 ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を行った。	A:実施した	【ユニバーサルデザインサポーター養成講座】 ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を行った。	企画部
				A:実施した	【認知症サポーター養成講座】 開催回数:82回 受講者数:1,913人(累計19,729人)	A:実施した	【認知症サポーター養成講座】 開催回数:47回 受講者数:612人(累計20,341人)	A:実施した	【認知症サポーター養成講座】 開催回数:58回 受講者数:885人(累計21,226人)	A:実施した	【認知症サポーター養成講座】 開催回数:59回 受講者数:1226人(累計22452人)	A:実施した	【認知症サポーター養成講座】 開催回数:66回 受講者数:1087人(累計23338人)	地域支えあい推進部

基本理念	施策の方向	主な取組	2019年度の実績		2020年度の実績		2021年度の実績		2022年度の実績		2023年度の実績		現所管部	
	11 ユニバーサルデザインの考え方を広げるしくみづくり													
	11	1	区民・事業者に対する普及啓発											
	11	1	ユニバーサルデザインについて広く理解を得るための講座等を開催するとともに、区民・事業者向けの普及啓発冊子等を作成します。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、区役所ロビーにおいて普及啓発を行った。 【性的マイノリティーク会の実施】 ・性的マイノリティ当事者等6名の講師よりリレー形式の講座を実施した。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、区民が多く通行する中野駅ガード下ギャラリーにて普及啓発を行った。 【性的マイノリティ区民講座】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より実施を見送った。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインについて広く理解を得るため、中野区役所ロビー及び中野駅ガード下ギャラリーにて普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。 【性的マイノリティ区民講座】 ・性的マイノリティ当事者の講師による講座を実施した。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ・ユニバーサルデザインやユニバーサルデザインの視点で配慮された商品について広く理解を得るため、明治大学中野キャンパスでの催事内で普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。 【性的マイノリティ区民講座】 ・性的マイノリティ当事者の講師による講座を実施した。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ・ユニバーサルデザインやユニバーサルデザインの視点で配慮された商品について広く理解を得るため、明治大学中野キャンパスでの催事内で普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。 【性的マイノリティ区民講座】 ・性的マイノリティ当事者の講師による講座を実施した。 【性的マイノリティ区民講座】 ・性的マイノリティ当事者の講師による講座を実施した。	企画部
				B:実施できなかったが、次年度実施予定	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人の状況や区の再犯防止の取組について広く理解を得るため「再犯防止推進シンポジウム」を開催に向けて準備を進めた(新型コロナウイルス感染拡大防止対策として中止)	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人の状況や区の再犯防止の取組について広く理解を得るため「再犯防止推進シンポジウム」を開催した。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、「再犯防止推進シンポジウム」を実施して、周知を図った。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動の支援を行っている。さらに、区職員や民生児童委員など地域の支援者向けの研修会を行い交流を図るとともに、保護司の活動事例等を共有し、生きづらさを抱えた人への配慮を学ぶ機会をつくった。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動の支援を行った。	地域支えあい推進部
				B:実施できなかったが、次年度実施予定	【障害者理解啓発差別解消講演会】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	【障害者理解啓発差別解消講演会】 12月に1回実施した。オンライン配信を行い、会場とあわせて63名が参加した。 【手話理解啓発講演会】(2020年度のみ) 3月に1回オンラインで実施した。58名が参加した。	A:実施した	【障害者理解啓発差別解消講演会】 1月に1回実施した。オンライン配信を行い、会場とあわせて58名が参加した。	A:実施した	【障害者理解啓発差別解消講演会】 民間事業者及び一般区民に向けた啓発講演会を12月に1回実施し、24名が参加した。	A:実施した	【区民・事業者向け「障害平等研修」】 一般区民及び民間事業者に向けた理解啓発事業として12月に1回実施し、32名が参加した。	健康福祉部
				A:実施した	子ども特別支援課が、リーフレット「子ども一人ひとりの理解と支援のために」を作成し、区民に配布した。	A:実施した	桃園第二小学校が授業のユニバーサルデザインについて研究し、区内の教員に対して発表し、資料の作成・配布した。	A:実施した	中野中学校が学校教育向上事業として、特別支援教室での指導や合理的配慮について区内の教員に対して研究発表及び資料を作成・配布した。	A:実施した	・桃園第二小学校(2020年度研究発表)や中野中学校(2021年度研究発表)が学校教育向上事業で作成した資料を活用した全小中学校におけるユニバーサルデザインの充実の推進	A:実施した	・ユニバーサルデザインに関する各校の事例のまとめと教員・保護者等へ周知・共有	教育委員会事務局
	11	1	区内事業者向け各種講座で、ユニバーサルデザインについて情報提供を行います。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	2020年度に事業者向け講座の開催予算を確保する。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	【事業者向けユニバーサルデザイン啓発講座】 東京商工会議所と共催でユニバーサルデザインに関する講座を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の実施を見送った。	A:実施した	【事業者向けユニバーサルデザイン啓発講座】 東京商工会議所と共催でユニバーサルデザインに関する事業者向け講座を実施した。	B:実施できなかったが、次年度に実施予定	【事業者向けユニバーサルデザイン啓発講座】 ・次年度の開催に向け、共催する東京商工会議所との協議を行った。	B:実施できなかったが、次年度に実施予定	【事業者向けユニバーサルデザイン啓発講座】 ・次年度の開催に向け、共催する東京商工会議所との協議を行った。	企画部
				A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A:実施した	女性の再就職を支援するためのセミナーを産業振興センターで実施した。	A:実施した	ユニバーサルデザイン関連創業等支援セミナー(女性の再就職セミナー含む)を実施した。	A:実施した	ユニバーサルデザイン関連創業等支援セミナー(女性の再就職セミナー含む)を実施した。	区民部
				D:未着手(検討していない)		A:実施した	「再犯防止推進シンポジウム」など、誰もが参加できる事業の組み立てとするなど、事業を通じてユニバーサルデザインに関する考え方の普及を図った。	A:実施した	「再犯防止推進シンポジウム」など、誰もが参加できる事業の組み立てとするなど、事業を通じてユニバーサルデザインに関する考え方の普及を図った。	A:実施した	再犯防止推進について、支援者に向けた研修会を行い、生きづらさを抱えた人への配慮を学ぶ等、地域で様々な人が支え合う重要性を共有している。	A:実施した	再犯防止推進イベントを実施し、参加者に対して犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解の促進を行った。	地域支えあい推進部
				A:実施した	半数以上が事業者で構成される協議会において、ユニバーサルデザインに関する説明と、啓発冊子の配布を行った。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業者が集まる機会が少なく、実施できなかった。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業者が集まる機会が少なく、実施できなかった。	A:実施した	【障害者理解啓発差別解消講演会】 民間事業者及び一般区民に向けた啓発講演会を12月に1回実施し、24名が参加した。	A:実施した	【区民・事業者向け「障害平等研修」】 一般区民及び民間事業者に向けた理解啓発事業として12月に1回実施し、32名が参加した。	健康福祉部
	11	2	区民団体等による普及啓発の取組の支援											
	11	2	区が行う政策に合致し、区政目標の実現に貢献する活動を助成する「区民公益活動に関する政策助成」にユニバーサルデザインの視点を追加し、区民団体等が主体的に行う公益活動を支援します。	A:実施した	政策助成の審査基準で「ユニバーサルデザインへの配慮」の項目を追加した。審査基準は政策助成の申請手続きで公開しており、各区民団体が、事業計画段階でユニバーサルデザインに配慮された事業を計画するよう助言等を行っている。	A:実施した	2019年度の実績を継続。	A:実施した	2020年度の実績を継続。	A:実施した	政策助成の審査基準に「ユニバーサルデザインへの配慮」の項目を設け、各区民団体が、事業計画段階でユニバーサルデザインに配慮した事業を計画するよう促している。	A:実施した	政策助成の審査基準に「ユニバーサルデザインへの配慮」の項目を設け、各区民団体が、事業計画段階でユニバーサルデザインに配慮した事業を計画するよう促している。	地域支えあい推進部

基本理念	施策の方向	主な取組		2019年度の実績		2020年度の実績		2021年度の実績		2022年度の実績		2023年度の実績		現所管部
	12 個性や多様性を大切にする意識づくり													
	12	1	人権擁護・男女共同参画推進のための普及啓発											
	12	1	人権週間や男女共同参画週間等に実施するパネル展やイベント、男女共同参画センター情報誌「アンサンブル」等による普及啓発を行います。	A:実施した	【人権週間関連行事】 広く区民に対しての人権尊重思想の普及を目的として、東京人権擁護委員協議会中野地区との共催で、12月に中野駅前で街頭啓発と、区役所1階区民ホールにてパネル展を実施した。 【男女共同参画週間関連行事】 参加者が講演を通じて男女共同参画社会に向けた気付きを得ることを目的として、男女共同参画週間講演会と、区役所1階区民ホールにてパネル展を実施した。	B:実施できなかったが、次年度実施予定	【人権週間関連行事】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。 【男女共同参画週間関連行事】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	【人権週間関連行事】 ・街頭啓発に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。 ・人権パネル展を中野駅ガード下ギャラリーで実施した。 【男女共同参画週間事業】 ・男女共同参画週間講演会の実施 ・男女共同参画週間パネル展の実施 ・男女共同参画週間パネル展の実施 ・男女共同参画センター情報誌「アンサンブル」44号の発行。区民の方から企画編集委員を公募し、協同して作成	A 実施した	【男女共同参画週間事業】 ・男女共同参画週間講演会の実施 ・男女共同参画週間パネル展の実施 ・男女共同参画センター情報誌「アンサンブル」45号の発行。区民の方から企画編集委員を公募し、協同して作成	A 実施した	【男女共同参画週間事業】 ・男女共同参画週間講演会の実施 ・男女共同参画週間パネル展の実施 ・男女共同参画センター情報誌「アンサンブル」46号の発行。区民の方から企画編集委員を公募し、協同して作成	企画部
	12	1	犯罪や非行を未然に防ぐとともに、犯罪歴や非行歴がある人も地域の一員として受け止め、立ち直りを支える共生社会を目指し、中野区再犯防止推進計画を策定し、関係機関と連携した取組を進めます。	A:実施した	犯罪や非行を未然に防ぎ、犯罪をした人や生きづらさを抱えて立ち直りに支援を必要とする人への理解促進と支援の取組を進めるため、「中野区再犯防止推進計画」の策定に向けた庁内検討を進めるとともに、関係団体等の意見交換等を進めた。	A:実施した	「中野区再犯防止推進計画」を策定し、関係機関や関係団体と取組を進めるための協議等を進めた。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、職員向けの情報誌「RE:スタート」を作成し、配信をしたり、「再犯防止推進シンポジウム」や職員向け研修を実施して、周知を図った。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動の支援を行っている。さらに、区職員や民生児童委員など地域の支援者向けの研修会を行い交流を図るとともに、保護司の活動事例等を共有し、生きづらさを抱えた人への配慮を学ぶ機会をつくった。	A:実施した	犯罪をした人や立ち直りに支援を必要とする人への理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動の支援を行った。保護司等の関係団体との連携のもと、中野区再犯防止推進計画に基づく取り組みを実施した。	地域支えあい推進部
	12	2	国際理解・国際化推進のための普及啓発											
	12	2	姉妹都市や友好関係にある海外自治体との交流を通じて相互理解を深めるとともに、交流自治体をさらに広げていきます。	A:実施した	子ども交流事業を通して、ニュージーランドのウェリントン市との交流を実施した。	A:実施した	友好関係にある西城区とオンラインにて交流を実施した。	A:実施した	友好関係にある西城区と友好区締結35周年記念交流をオンラインにて交流を実施した。	B:実施できなかったが、次年度に実施予定	オンライン交流の実施を検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により未実施。	A:実施した	子ども交流事業を通して、ニュージーランドのウェリントン市との交流を実施した。	区民部
	12	2	中野区国際交流協会の取組を支援し、国際交流事業を実施します。	A:実施した	国際交流協会が行う市民交流事業や日本語講座等について支援を実施した。	A:実施した	・国際交流協会が行う市民交流事業や日本語講座等について支援を実施した。 ・日本語教室について、中学生向け日本語教室を実施し、日本語教室の充実を図った。	A:実施した	・国際交流協会が行う市民交流事業や中学生日本語集中教室について支援を実施した。	A:実施した	・国際交流協会が行う市民交流事業や中学生日本語集中教室について支援を実施した。	A:実施した	・国際交流協会が行う市民交流事業や中学生日本語集中教室について支援を実施した。	区民部
	12	3	障害者差別解消のための普及啓発											
	12	3	障害者週間に区民向けの啓発事業を実施するほか、障害者施設等が実施するまつりなど交流事業等における交流の機会をつくります。	A:実施した	一部実施 【障害者理解啓発差別解消講演会】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。 【障害者施設等におけるまつり】 障害者会館や弥生福祉作業所等区立施設においてまつりを実施し、近隣住民との交流を図った。	A:実施した	一部実施 【障害者理解啓発差別解消講演会】 12月に1回実施した。オンライン配信を行い、会場とあわせて63名が参加した。 【障害者施設等におけるまつり】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	一部実施 【障害者理解啓発差別解消講演会】 1月に1回実施した。オンライン配信を行い、会場とあわせて58名が参加した。 【障害者施設等におけるまつり】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	一部実施 【障害者理解啓発差別解消講演会】 民間事業者及び一般区民に向けた啓発講演会を12月に1回実施し、24名が参加した。 【障害者施設等におけるまつり】 感染拡大防止のため、事業の実施を見送った。	A:実施した	一部実施 【区民・事業者向け「障害平等研修」】 一般区民及び民間事業者に向けた理解啓発事業として12月に1回実施し、32名が参加した。 【障害者施設等におけるまつり】 感染拡大防止のため、施設利用者のみで実施し、公開を見送った。	健康福祉部
	12	3	手話通訳者養成講習会を開催するなど、手話によるコミュニケーションを必要としている方が自立した生活ができる環境づくりを進めます。	A:実施した	【手話講習会】 手話通訳者の養成を行い、新たに3名の手話通訳者を登録した。 【手話通訳者研修会】 手話通訳者の技術を保持し、向上させるため、月2回の研修を実施した。	A:実施した	一部実施 【手話講習会】 手話通訳者養成クラスのみ実施した。入門・基礎・応用クラスは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の実施を見送った。 【手話通訳者研修会】 手話通訳者の技術を保持し、向上させるため、月2回の研修を実施した。	A:実施した	【手話講習会】 手話講習会(入門・基礎・応用・養成クラス)を実施し、手話通訳者の養成を実施した。 【手話通訳者研修会】 手話通訳者の技術を保持し、向上させるため、月2回の研修を実施した。	A:実施した	【手話講習会】 手話講習会(入門・基礎・応用・養成クラス)を実施し、手話通訳者の養成を実施した。 【手話通訳者研修会】 手話通訳者の技術を保持し、向上させるため、月2回の研修を実施した。	A:実施した	【手話講習会】 手話講習会(入門・基礎・応用・養成クラス)を実施し、手話通訳者の養成を実施した。 【手話通訳者研修会】 手話通訳者の技術を保持し、向上させるため、月2回の研修を実施した。	健康福祉部
	12	4	性的少数者に対する理解促進のための取組											
	12	4	パートナーシップ宣誓・宣誓書等受領証の交付など、LGBT等の性的少数者への理解を促進する取組を進めます。	A:実施した	【パートナーシップ宣誓制度の運営】 ・2018年8月からパートナーシップ宣誓制度開始した。 ・2019年度はパートナーシップ宣誓書受領証28件、公正証書等受領証1件を交付した。	A:実施した	【パートナーシップ宣誓制度の運営】 ・パートナーシップ宣誓書受領証18件、公正証書等受領証2件を交付した。 ・制度利用者の利便性向上のため、受領証の小型化するとともに手続きの簡略化した。	A:実施した	【パートナーシップ宣誓制度の運営】 ・パートナーシップ宣誓書受領証34件、公正証書等受領証7件を交付した。	A:実施した	【パートナーシップ宣誓制度の運営】 ・パートナーシップ宣誓書受領証21件、公正証書等受領証5件を交付した。 ・対象者拡大及び利便性向上のために、要綱改正と受領書様式の変更を行った。	A:実施した	【パートナーシップ宣誓制度の運営】 ・パートナーシップ宣誓書受領証18件、公正証書等受領証3件を交付した。 ・宣誓者のメリット向上の為、宣誓者が利用できる行政サービスの拡充を行った。	企画部
				—	—	A:実施した	(選挙管理委員会事務局) 投票用紙を交付する際、男女を選択するボタンを押して人数を計測しているが、2020年7月5日執行の東京都知事選挙から、ボタンを外部から見えないように変更した。	A:実施した	(選挙管理委員会事務局) 申請書に性別欄がないか点検を行っている。また、各投票所で有権者の受付を行う際に、LGBTに配慮した対応を行うよう啓発している。	A:実施した	(総務部) パートナーシップ関係にある職員について、婚姻関係にある職員と同等の休暇や給付金対象とするよう検討した。	—	—	各部